

Produced to assure your safety.

ASSURA®

AR-930FT

GPS ソーラーレーダー探知機 取扱説明書



Copyright © 2010 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstar およびASSURA は、セルスター工業株式会社の登録商標です。

microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logoは登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

* 本書は、資源有効活用を目的として、環境に配慮した大豆油インクを使用しております。

micro
SD

PRINTED WITH
SOYINK

ご購入のお客様へ

この度は、当社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

本機は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。

速度の出しすぎに注意して走行してください。

また、緊急車両が接近した場合には速やかに道をお譲りください。

本機の特徴

■ イオス：Effective Operation System



心地よく、効率の良いドライビングサポートを実現させるシステムを採用。GPS情報と登録データを連動させ、常に走行状況を把握することで、自動的に走行速度に合わせた警告内容を判断します。走行状況によりボイスアシストの内容が変化するなど、快適な使用感をご提供いたします。

■ ピー・キャン



常に適切なドライビングサポートをおこなえるよう、自動ドアなどによるレーダー警告音や取締機の撤去などで必要なくなったGPS警告音を、ワンタッチ操作で簡単にキャンセルさせることができます。

■ BESTセレクト機能

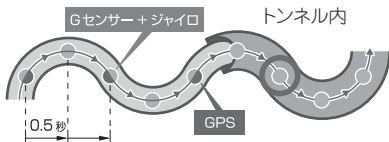


“BESTボタン”をワンタッチ操作するだけで、機能設定が完了。面倒な設定操作を必要とせず、あらかじめ設定されている「オールモード（すべての警告動作を実行）」「標準モード（お薦めできる標準的な設定）」と、自由にカスタマイズ可能な「マニュアルモード1（初期設定が高速道向け）」、「マニュアルモード2（初期設定が一般道向け）」の4つを状況に合わせて切り替えることで、より便利で簡単にご使用いただけます。

■ GPS+Gセンサー+ジャイロセンサー

GPS+Gセンサー+ジャイロセンサーで、0.5～1秒刻みで常に自車の位置を計測*。GPSが未測位の状態になっても2つのセンサーで一定区間自車位置を計測しつづけて、その先の警告を逃しません。

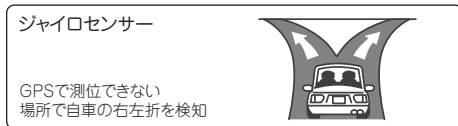
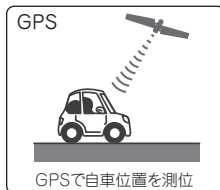
0.5秒刻みで計測するのでなめらかな自車位置測位が可能



トンネルの中でもGセンサー+ジャイロセンサーが働いて自車位置を特定できます。

* DC12V入力時対象（ソーラー稼働の場合、主にGPS測位となります。未測位時「トンネル内/出口取締機、トンネル入口/出口案内、トンネル内急加減速警告ほか」は警告の対象となります。）

自車位置測位の仕組み



■ MyCellstar



MyCellstarのWEBサイトから、無料でGPSデータ、実写案内画像、おもしろカスタマイズ機能、その他お役立ち機能を利用できます。

最新データは隔月配信！
GPSデータ更新ダウンロード **無料**
無料ダウンロードは **何回でも** 利用可能です。



microSD カードでできること

- ・GPSデータ更新（P45参照）
- ・実写案内（P15参照）
- ・走行ログ機能（P47参照）
- ・GPSスポット追加機能（P46参照）
- ・デジタルフォトフレーム機能（P32参照）
- ・おもしろカスタマイズ機能（MyCellstarのWEBサイトを参照）

■ microSDカードで実写案内

カー雑誌Optionとのコラボレーション企画により、取締機などをmicroSDカードに収録。また、お好みでなめらかなアニメーション動画による警告にすることができます。（P15参照）

* 実写案内画像の更新回数はGPSデータ更新とは異なります。

■ ハイブリットL.S.C.（ロー・スピード・キャンセラー）機能

GPS測位中は、車の低速走行や停止時に、GPS未測位中は、車の振動が少ない状態のときにレーダー警告音を自動的にキャンセル（消音）します。（P41参照）

本機に搭載されている地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、国院発行の数値地図2500（空間データ基盤）を使用したものである。（承認番号 平21業使、第421号）

目次

本機の特徴	2
-------	---

はじめに

安全上の注意	4
使用上の注意	5
付属品の確認	6
各部の名称と機能	7

本機の取り付け

本体の取り付け方	8
マウントベースを使って取り付ける場合	9
ダッシュボードへ直接取り付ける場合	9
電源の取り方	10
シガーライター用DCコードの接続	10
配線処理	11
内蔵バッテリーについて	12
充電方法	13
シガーライター用DCコードでの充電方法	13
ソーラーパネルでの充電方法（補充電）	13
内蔵バッテリー残量警告	13
リモコンの取り付け方	14
リモコン用電池の装着方法	14
リモコンの取り付け	14
microSDカードの使用方法	15
microSDカードの挿入	15
microSDカードの取り出し	15

基本操作

電源を入れる/切る	16
電源を入れる	16
電源を切る	16
リモコンの操作	17
音量の調整	17

画面の説明

待受画面の見方	18
警告案内画面の見方	20
各種GPS警告案内例	21
警告の種類と内容	22
GPS警告	22
各種無線警告	25
レーダー波警告	26

各種設定

各種設定の変更	27
BESTセレクト機能	27
機能設定と基本設定の変更	27
機能設定一覧	28
基本設定一覧	32

もっと使いこなす

GPSを利用した機能	38
GPS測位について	38
GPS警告ポイントの消去	38
ユーザーメモリ	39
レーダーキャンセルエリア	40
ハイブリッドL.S.C. 機能	41
ワンスキップ	41
スキップメモリ	41
追跡表示機能	42
1 km圏内サーチ機能	42
通過速度履歴確認機能	42
音の設定	43
警告音のミュート	43
マナーモード	43
その他の機能	44
セレクトティブアイコン	44
マイカー情報登録	44
パワーオート切替え機能	45
GPSデータ更新	45
GPSスポット追加機能	46
走行ログの記録と転送	47
使用状況表示機能	47
GPSデータと実写案内用画像のバージョン確認	47
反則金データベース表示機能	48
エリアタイムディマー機能	48
オートトーンダウン機能	48
レシーバーオートミュート機能	48
本機の初期化	48

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら	49
------------	----




アフターサービス

アフターサービスについて	51
--------------	----




安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明していきます。








■ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 * 物的損害とは、車両・家屋・家財等に関わる拡大損害を示します。







■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
	この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
	この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。






危険

-  本機はDC12V 専用です。他の電圧での使用は故障の原因になりますので、絶対におやめください。
-  走行中に本機の操作や画面の注視をしないでください。
* 交通事故の原因となります。
-  万一、故障した場合は直ちに使用を中止してください。
* そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。
-  医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
* ベースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。
-  水につけたり、水をかけたり、また、ぬれた手では絶対には操作しないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。
-  煙が出ている、変な臭いがあるなど異常な状態のままでは使用しないでください。
* 発火して火災の原因となります。
-  ソーラーパネルの受光面はガラスのため、落としたり、物をぶつけると割れることがあります。
* ケガの原因となります。

注意

-  穴や隙間にピンや針金を入れないでください。
* 感電や故障の原因となります。
-  本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
-  夏の炎天下、真冬の駐車の際はできるだけ本機を取り外してください。
* 性能の劣化、本体の変形をまねく原因となります。
-  一部のカーナビゲーションと同時に使用すると、本機が鳴り続ける場合があります。
-  本機を取り付けている、いないの状態にかかわらず、速度違反や駐車違反などに関して、当社では一切の責任を負い兼ねます。
-  microSD カードの挿入、取り出しをするときは、microSD カードスロットに顔を向けしないでください。
* ケガの原因となります。

警告

-  運転や視界の妨げにならない場所、または自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。
* 誤った取り付けは交通事故の原因となります。
-  エアバッグの近くに取り付けたり配線したりしないでください。
* 万一エアバッグが作動した時、本体が飛ばされ事故やケガの原因となります。また、配線が妨げとなりエアバッグが正常に動作しないことがあります。
-  電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したりしないでください。電源コードが傷ついた場合には直ちに使用を中止してください。
* 感電やショートによる発火の原因となります。
-  本機は精密機器です。分解や改造は絶対にしないでください。
* 発熱、火災、ケガの原因となります。
-  ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。また、ぬれた状態のプラグを差し込むなどの行為もしないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。

使用上の注意

はじめて

■ 取り付けについて

取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低いためにGPS、レーダー波、各種無線の受信がしにくい場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合せください。

本機は、防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。本機は、車載の電装機器（地上デジタルチューナー、カーナビ、ETC、アンテナ類等）や電源ノイズの影響により、特定チャンネルを連続的に受信する場合はGPSを含む各種無線が受信できなくなる場合があります。また、本機の取り付け位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合があります。その場合には、十分間隔をとって取り付けてください。

車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、本機がGPSを測定できなくなることがあります。

一部の車種において付属のシガーライター用DCコードが、シガーライターキットの形状に合わない場合があります。また禁煙車など、シガーキットが装備されていない車の場合には、オプションの電源直結配線用DCコード（RO-103）を使用してください。

直結配線用DCコードの車両への取り付けには専門的な知識を必要とします。お買い求めになられた販売店などでの取り付けをお勧めします。

■ 各種GPS警告について

各種GPSデータは、当社独自調査によるデータと、公表されているデータを参考に集計、作成しています。

取附りポイントおよび待伏セエリアは、取附りの目撃情報をもとに登録されています。

凍結注意アナウンスは、当社独自調査による道路の凍結しやすい地点を冬季期間お知らせします。

事故多発エリアは警察庁、国土交通省の統計データにより集計していますが、集計の時期またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。また首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し警告が頻繁におこなわれる場合があります。

■ 各種無線の受信について

- 受信内容を第三者に漏洩するのは電波法により禁じられています。
- 各種無線の受信は、無線が使用され電波が出ている場合に限りです。また電波の状態によって受信状態が変化します。
- 受信電波がデジタル通信の場合は、音声を聞くことができます。
- 一部地域では各種無線が配備されていない、またはシステムが異なる、変更されるなどの理由により受信することができない場合があります。
- レッカー無線は簡易業務用無線のため、同一チャンネル内の他業種無線を多く受信する場合があります。
- 新救急無線は、主に東京都内で使用されている救急無線です。

■ 各種警告案内について

本機は、高精度GPSデータをGPSの受信、Gセンサー+ジャイロセンサーの測定、レーダー波を含む各種無線の受信から独自に計算して警告します。そのため、登録、記録されていない地点や、測定に不満足、未測定の場合、および各種無線が受信できない場合には、警告動作をおこなうことができません。また、警告内容と実際の状況や異なる場合があります。

本機でお知らせする制限速度は、天候、その他による臨時規制や時間帯で変化する速度規制には対応してません。

制限速度切替りポイントは、インターチェンジやジャンクションなどの接続部や料金所などによる制限速度の切替りはお知らせしません。

トンネル案内は、有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速など）では案内しません。

ロード自動選択機能は、現在の走行状態が一般道が高速道を走行中かを自動判断し、警告対象道路を自動で設定するため、走行状態によって異なる状態となる設定となっております。確実な警告を出したい場合には、ロード自動選択を「オフ」に設定してご使用ください。

ズームマップは、取附機のみ表示されます。また実際の走行中の道路と異なる場合があります。

トンネル内オービス/トンネル出口案内は、Gセンサー+ジャイロセンサーにて車位置を測定するため、実際と異なる場合があります。

本機でお知らせする飲酒運転警告案内は、飲酒運転をしないように注意を促すもので飲酒検問などをお知らせするものではありません。

ドライブ/エコ情報については当社独自の方法により算出しています。

■ パワーオート切替え機能について

車を駐車する周囲に、工事現場や幹線道路がある場合など、周辺の振動や騒音を検出し、電源が切れない場合があります。使用しない場合には本体の「電源スイッチ」で電源を切ってください。

■ カーロケータシステムについて

カーロケータシステムはすべての警察関係車両に搭載されています。また搭載されていても常時電波を発信していません。

カーロケータシステムの違いについては、導入されていない、またはシステムが変更されている地域では受信することができません。

■ レーダー波受信について

設置されている速度取締機の中には稼働していないものもあります。この場合、レーダー波を使用している種類であってもお知らせすることができない場合があります。

取附りレーダー波以外でも、同一チャンネル等の電波を受信し警告動作をする場合がありますが、誤動作ではありません。

ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離の余裕をもってお知らせすることができません。ステルスアラームが鳴ったときにはすでに計測されている場合があります。

大型車の後方を走行する場合やカーブの急な道路を走行する場合、レーダー波を受信しにくい状態になる場合があります。

■ ディスプレイについて

待受画面と同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証対象になりません。スクリーンセーパー機能をオンにしたり、ディスプレイの明るさを極く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。

液晶ディスプレイの性質により、輝点や減点が発生したリズシタの色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証対象になりません。

ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車に設置する際にはご注意ください。

偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

■ 内蔵バッテリーの消耗について

コर्टレスで使用する場合、警告・無線受信の頻度、設定内容などにより内蔵バッテリーの消耗が激しくなります。

■ 車位置および走行速度などについて

車位置は、GPSの受信、Gセンサー+ジャイロセンサーの動きで測定されます。高架下やトンネルなどでGPSからの受信が一時的に途切れても、車位置を測定することができ、GPSが受信できない場所では、完全な車位置の測定をおこなうことができません。

本機で表示される車両の走行速度や傾斜計、高度計は、GPS、Gセンサーの測定から算出される、実際の数値と異なる場合があります。また運転中は必ず車両のスピードメーターで速度を確認してください。

■ microSDカードについて

microSD™はSDアソシエーションの商標です。

定期的なmicroSDカードのデータをバックアップしてください。記録されたデータの破損、消失については故障や損害の内容、原因に関わらず当社は一切その責任を負いません。

付属microSDカードは、初期不良以外における修理を、一切おこなっておりません。

お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されたと著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

■ 実写案内について

実際の速度取締機と表示される写真や設置状況が変更により異なる場合があります。また、実写案内用画像が登録されていない取締機の場合、アニメ警告表示となります。

■ MyCellstarについて

MyCellstar™にて、GPSデータ、実写案内用画像のダウンロードによる更新、デジタルフォトフレーム、画像・音声カスタマイズ、GPSスポット追加、走行ログ記録を使用するにはインターネットへの接続が可能な環境とmicroSDカードを読み書きできるパソコンが必要となります。詳しくは、当社HPをご参照ください。URL: <http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

■ その他注意について

本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないください。

製品のデザインや仕様は、改良等のため予告なく変更する場合があります。本機に搭載されているコンテンツは、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本機の誤った取り扱いによる車両や車載器などの事故・破損・故障・損害等が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。また保証なども一切ありません。

本機は、安全運転を促進する目的で製造販売されています。くれぐれも、速度の出し過ぎや飲酒運転は絶対におやめください。また、緊急車両が接近した際には速やかに道をお譲りください。

付属品の確認

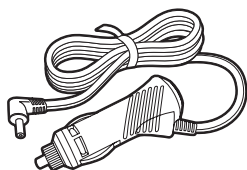
付属品

はじめに、同梱物の確認をおこなってください。

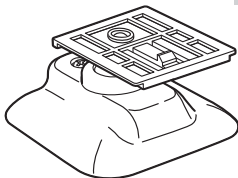
取扱説明書（本書）

保証書

* その他注意書きが同梱している場合があります。



シガーライター用
DCコード



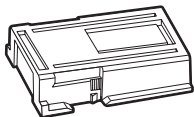
マウントベース



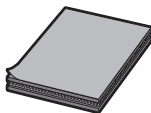
リモコン



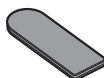
リモコンホルダー



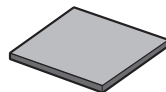
プレート



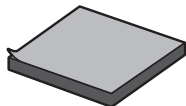
プレート取付用
固定テープ



リモコンホルダー
取付用両面テープ



ダッシュボード
取付用両面テープ



ダッシュボード取付用
ジェルマット



リモコン用電池



microSDカード
(本体に挿入されています)

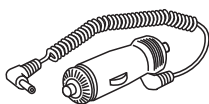
オプション品

別途お買い求めください。

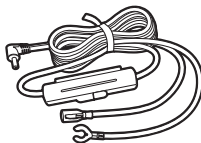
詳しくは当社ホームページをご確認ください

<http://www.cellstar.co.jp>

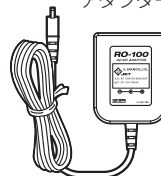
● RO-102 電源スイッチ付DCコード
(カールタイプ)



● RO-103 直結配線用DCコード

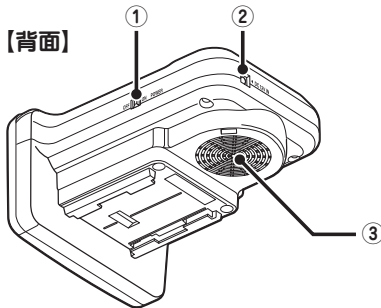


● RO-100 充電用AC/DC
アダプター

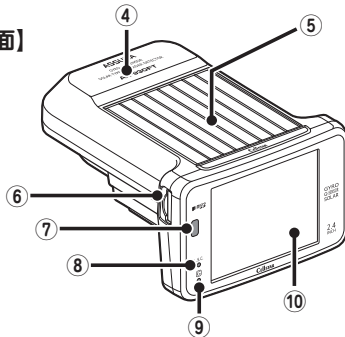


各部の名称と機能

本体

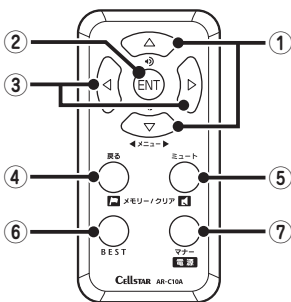


【前面】



- ① **電源スイッチ**
電源のON/OFF をします。
- ② **DC12V ソケット**
DCコードを接続し、DC12Vを本機に入力します。
- ③ **スピーカー**
警告音や、ボイスガイドなどの音が出ます。
- ④ **GPS**
GPS衛星を受信します。
- ⑤ **ソーラーパネル**
太陽光を受けて発電し、内蔵バッテリーに充電します。
- ⑥ **microSD カードスロット**
GPS警告の実写案内、デジタルフォトフレーム(待受画面)などを使用する場合に付属のmicroSDカードを挿入します。
- ⑦ **赤外線受光部**
リモコンから送信される赤外線を受光します。
- ⑧ **L.S.C. ランプ (緑、赤、橙色)**
電源のON/OFF 状態や、ハイブリッドL.S.C.機能の動作状況を表示します。
- ⑨ **☑ ランプ**
GPS、Gセンサー、ジャイロセンサーで測位時は消灯、未測位時は赤色で表示します。
- ⑩ **ディスプレイ**
レーダー受信時、GPS警告時、各種無線の受信時に警告画面を表示します。また、マニュアルモードなどで各種設定内容を示します。

リモコン



- ① **▲▼ボタン**
音量を調整するときに使用します。また、各種設定変更時の設定内容切り替えや使用状況の表示、セレクトティブアイコン一括非表示などに使用します。
- ② **ENTボタン**
設定操作の決定や、通過速度の確認、1km圏内サーチ機能、ワンスキップの操作をするときに使用します。
- ③ **◀▶ボタン**
設定メニューの選択時に使用します。
- ④ **戻るボタン**
ユーザーメモリ機能やGPS警告ポイント消去機能などを設定するときに使用します。また、各種設定の操作などを中止するときにも使用します。
- ⑤ **ミュートボタン**
ミュート機能、レーダーキャンセルメモリなどを設定するときに使用します。
- ⑥ **BEST ボタン**
BESTセレクト機能の切り替えや設定チェック、スキップメモリをするときに使用します。
- ⑦ **電源ボタン**
本体の電源をON/OFF します。またマナーモードを切り替えるときや、反則金データベースを表示するときに使用します。

本体の取り付け方



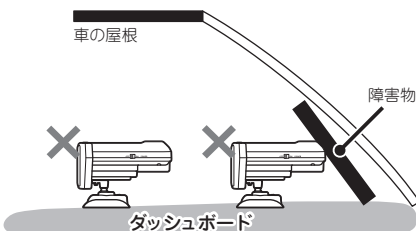
注意

- 本機は上空からのGPS信号受信と前後方向からのレーダー波を受信してお知らせします。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに、金属などの障害となるものがないように本体をお取り付けください。

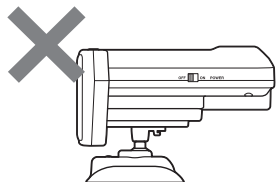
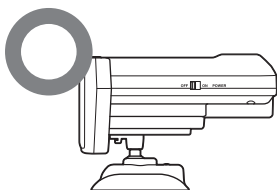
○ GPS信号、レーダー波が届く場所



× GPS信号、レーダー波が届かない場所

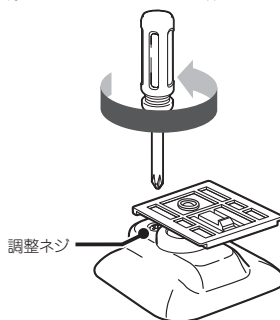


- マウントベースの取り付け向きに注意してください。



注意

- マウントベースに装着した本体の向きがぐらつく場合は、マウントベースの調整ネジを締めることで、しっかりと本体を固定することができます。一度マウントベースから本体を取り外し、調整ネジをドライバーなどで締め直してください。



- 本体を下図の角度の範囲内で取り付けない場合、Gセンサーやジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。

横から見た角度

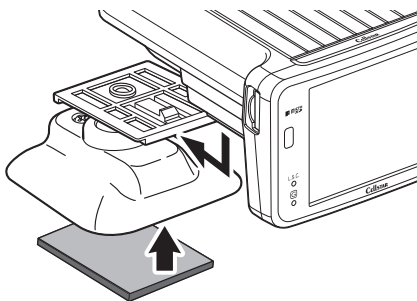
正面から見た角度



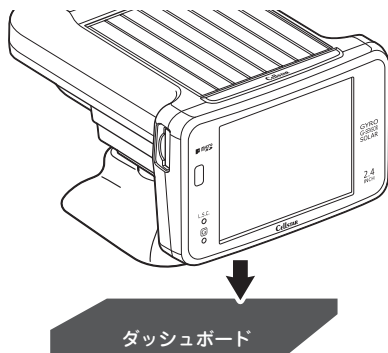
- * 範囲内で取り付けした場合、自動的にGセンサーやジャイロセンサーの補正をおこないます。
- * 常に一定方向のGを表示している場合、水平な場所で電源を入れなおしてください。

マウントベースを使って 取り付ける場合

- 1 本体の底にマウントベースを装着し、マウントベースの裏面に、ダッシュボード取付用両面テープまたはダッシュボード取付用ジェルマットを貼り付ける。



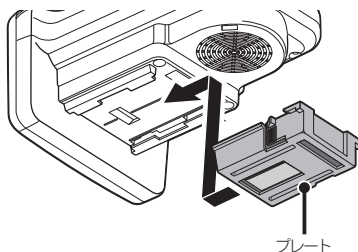
- 2 マウントベースをダッシュボードに貼り付ける。



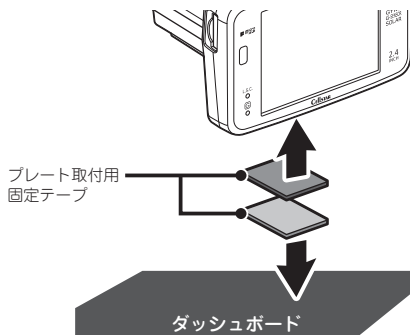
* ジェルマットは剥がしても接着跡が残りやすく、粘着力が弱くなった場合、表面の汚れを洗い落とすことで粘着力が復活し、再使用することができます。傾斜している場所への取り付けなど、ジェルマット使用での取り付けが不安定になる場合は、付属の両面テープを使用して、確実に取り付けてください。

ダッシュボードへ直接取り 付ける場合

- 1 本体の底にプレートを装着する。

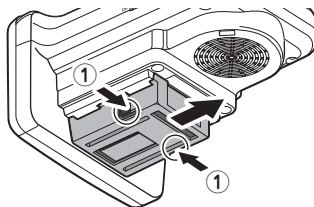


- 2 プレート取付用固定テープをプレート部に貼り付け、もう一方の固定テープをダッシュボードに貼り付ける。



プレートの取り外し方法

- 1 プレート両側のツメを押しながら、取り外す。



電源の取り方

⚠ 注意

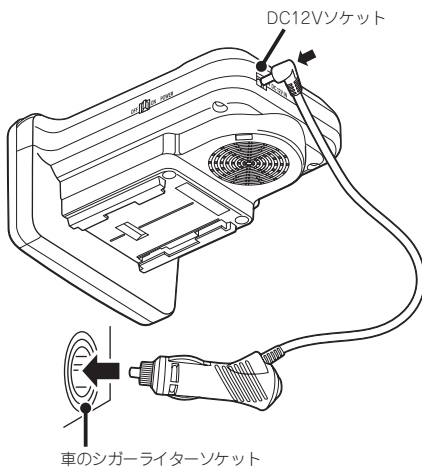
- 取り付け、配線は視界の妨げ、運転の妨げ、また車両の機能(ハンドル、ブレーキなど)の妨げにならないように注意し確実にこなしてください。
- エアバッグの近くに取り付けたり、配線したりしないでください。
- 本体の取付場所、各コードの配線処理によっては、ノイズなどによる車両への影響、また周辺の電子機器の影響を受ける場合があります。
- コードを無理に曲げたり、つぶしたり、加工しないでください。
- シガーライター用DCコードをシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らないでください。

シガーライター用DCコードの接続

本体のDC12Vソケットに付属のシガーライター用DCコードを接続します。

⚠ 注意

一部の車種において付属のシガーライター用DCコードが、シガーライターソケットの形状と合わない場合があります。



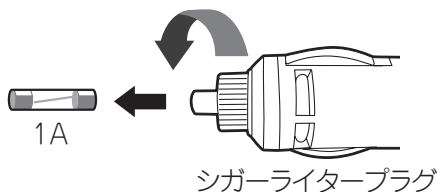
⚠ 注意

エンジンをかけて本機の電源が入らない場合は、以下の点を点検してください。

- 本体の電源スイッチ
- コード類の接続
- シガライター用DCコード内のヒューズ
- 車、または直結配線用DCコード内のヒューズ

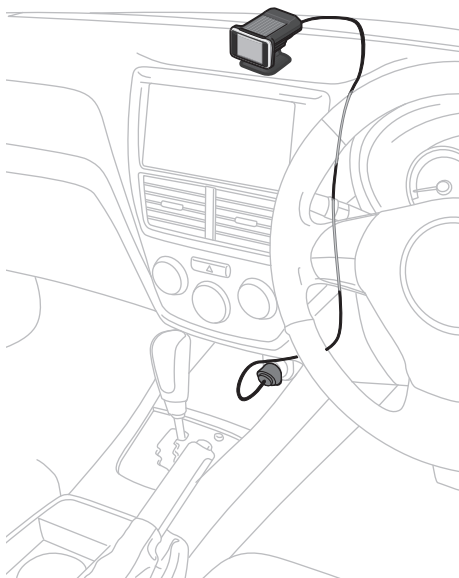
■ ヒューズが切れた場合

ヒューズ (1A) を交換します。



配線処理

コードは運転の妨げとならないように、配線処理してください。余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やバッキン類の隙間に入れます。



⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

内蔵バッテリーについて

本機は、DC12V入力または内蔵バッテリーを電源として動作いたしますが、特に内蔵バッテリー（ソーラー）での使用の際は、いくつかの注意点があります。以下の注意点をよくご理解の上、ご使用ください。



注意

無線受信の頻度、動作設定内容などによっては、内蔵バッテリーの消耗が激しくなります。これは本機の製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。



初めてお使いになる場合には、必ずシガーライター用 DC コードを接続し充電をしながらご使用ください。充電時間の目安は累積で約 8 時間です。（使用例：1 時間充電× 8 回）



本機は、さまざまな省電力対策を施しておりますが、GPS 測位時に多量の電気を消費します。内蔵バッテリーの電圧がある一定値以下になると、内蔵バッテリー保護のため全機能が強制的に停止しますので、ご注意ください。



ソーラーパネルでの充電は、あくまで補助的な充電です。本機の動作頻度が高い地域または降雪地域などで、冬期にソーラーパネルでの充電ができなくなるなど、早く内蔵バッテリーが消耗する場合がありますのでご注意ください。



ソーラーパネルの発電能力は、天候、取り付け場所によって大きく左右されます。夜間、雨天曇り降雪時などは、発電されませんので、シガーライター用 DC コードを接続して使用してください。

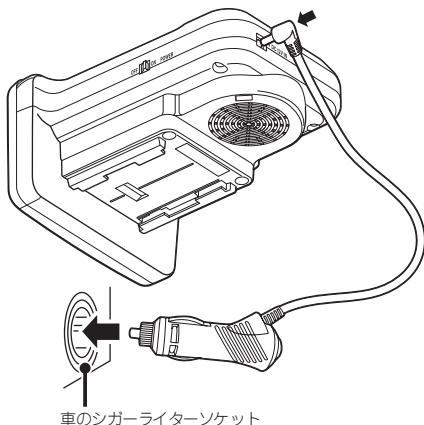
- * 本機を長期間使用せずに放置すると、内蔵バッテリーが空になってしまう場合があります。その場合、GPS測位の各種データは消去され、次の使用時、GPS測位に時間がかかる場合がありますので、ご注意ください。
- * 長期間ご使用にならない場合、必ず「電源スイッチ」を「OFF」にしてください。
- * 内蔵バッテリーには寿命があります。充電が十分にできなくなってきたら新しいものと交換してください。（使用状況にもよりますが目安は約3年です。）また、内蔵バッテリーの交換については、お買い上げの販売店または、最寄のお客様相談窓口、カスタマーサービスにご相談ください。
- * フロントガラスに着色してある、または特殊加工してある車種の場合、ソーラー充電効率が低下して内蔵バッテリーの消耗が早くなります。
- * 内蔵バッテリーの消耗が激しいときは、シガーライター用DCコードでのご使用をおすすめします。
- * シガーライター用DCコードのシガーライタープラグ内部のヒューズが切れた場合は新しいヒューズ（1A）に交換してください。
- * 一部の車種においては、シガーライター用DCコードのシガーライタープラグ形状が合わない場合があります。

充電方法

シガーライター用DCコードでの充電方法

初めてお使いになる場合や、バッテリーの充電が必要な状態になった場合は、付属のシガーライター用DCコードで充電をおこなってください。

シガーライター用DCコードのシガーライタープラグを車のシガーライターソケットに接続してください。



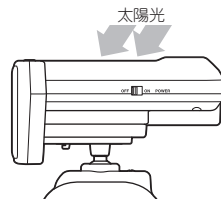
* シガーライター用DCコードでの充電時間の目安は累積で約8時間です。

* シガーライター用DCコードでの充電は、「電源スイッチ」が「OFF」の場合でも充電できます。ただし、車のエンジンがかかっている場合にに限られます。（一部車種除く）

充電を十分にした後、シガーライター用DCコードを抜いてコードレスでもご使用いただけます。

ソーラーパネルでの充電方法（補充電）

ソーラーパネルに直接太陽光が当たるように取り付け位置を調整してください。



* ソーラーパネルでの充電は、「電源スイッチ」が「OFF」の場合でもおこなえます。

ソーラーパネルでの充電は、あくまでも補助的な充電です。内蔵バッテリーの充電が必要な場合には、付属のシガーライター用DCコードで充電をおこなってください。



注意

夜間、雨天曇り降雪時などの日は太陽光が弱いため、ソーラーパネルでの充電はおこなわれません。特に、冬季の降雪地域や悪天候が続く場合は、付属のシガーライター用DCコードを使用してください。

内蔵バッテリー残量警告

ソーラー使用時に内蔵バッテリーの残量が少なくなると、ディスプレイに＜要充電＞画面が表示されます。



充電してください。危険です。

* 上の画面が表示されてからDC12Vを入力するとGPS測位をはじめます。内蔵バッテリーの残量が低下した場合は付属のシガーライター用DCコードを使用し、充電しながらご使用ください。



注意

＜要充電＞画面になっても、各種設定や記録は保護されています。本機を長期間使用せずに放置すると、内蔵バッテリーが空になってしまう場合があります。その場合、各種設定や記録は消去され、工場出荷時状態に戻る場合があります。

リモコンの取り付け方



注意

リモコンを紛失すると、本機の操作をおこなうことができません。紛失しないよう、十分ご注意ください。

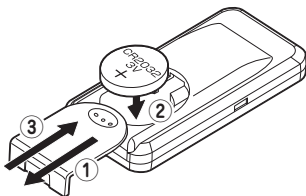
リモコン用電池の装着方法

本機ではボタン電池（CR2032）を使用します。

初めて本機をご使用になる場合は、同梱の電池を入れてください。

また、リモコンが作動しにくくなった場合は、市販されている新しい同型の電池に交換してください。

1 電池カバーを後ろにずらして外す。



2 電池を上図のように「+」側を上にして、リモコンに入れる。

3 電池カバーをはめ直す。



警告

- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池は充電、分解、変形、加熱、はんだ付け、火に入れるなどしないでください。



注意

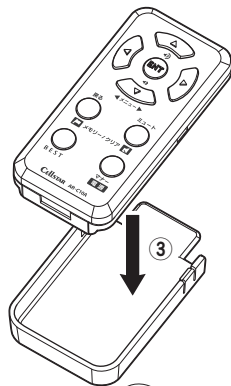
- 電池の「+」「-」を逆に入れないでください。
- 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。
- 同梱の電池はモニター用電池です。
- 使い終わった電池の処分は、各地方自治体の指示に従ってください。

リモコンの取り付け

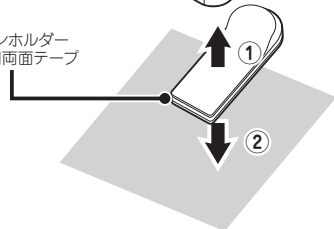
リモコンを紛失ないように、リモコンホルダーを車に固定することをお奨めします。

1 リモコンホルダーにリモコンホルダー取付用両面テープを貼り付ける。

2 リモコンホルダーを取り付け箇所貼り付ける。



リモコンホルダー
取付用両面テープ



3 リモコンをリモコンホルダーに納める。

microSDカードの使用方法

付属のmicroSDカードを使って、MyCellstarのサイトより無料で、GPSデータと実写案内画像のダウンロードによる更新、デジタルフォトフレームの設定などができます。

■ GPS警告の実写案内例



* 実際の速度取締機と表示される写真や設置状況が変更により、異なる場合があります。
また、実写案内画像が登録されていない取締機の場合、アニメ警告表示となります。

MyCellstar : <http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

* 上記サービスを利用するには、インターネットへの接続が可能な環境とmicroSDカードを読み書きできるパソコンが必要となります。

- * 付属のmicroSDカードは、初期不良以外における修理を一切おこなっておりません。
- * 本機はSD規格に準拠したFAT16形式でフォーマットされたmicroSDカードが使用できます。
- * 本機では、8MB～2GBまでのmicroSDカードが使用できます。
- * 本機では、SDHCのmicroSDカードは使用できません。
- * microSD™ はSDアソシエーションの商標です。

⚠ 注意

microSDカードに保存したデータの取り扱いについて

- ・本機は、使用の誤り、静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合があります。microSDカードを使用する前にデータのバックアップを取っておくことをお勧めします。なお本機におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

(基本設定一覧 P32参照)

(警告パターン P32参照)

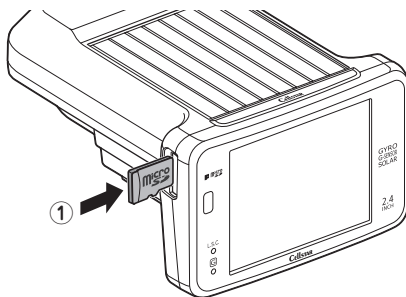
(GPSデータ更新 P45参照)

(GPSスポット追加機能 P46参照)

(走行ログの記録と転送 P47参照)

microSDカードの挿入

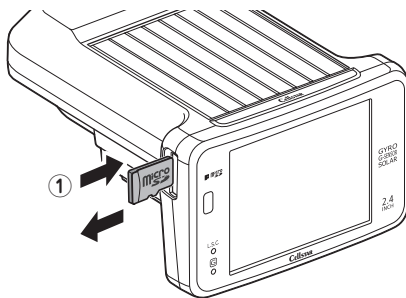
- 1 本体右側面のmicroSDカードスロットにmicroSDカードの向きに注意して「カチッ」と音がするまで押し込む。



本機の取り付け

microSDカードの取り出し

- 1 本体右側面のmicroSDカードスロットに挿入されているmicroSDカードを「カチッ」と音がするまで押し込む。microSDカードが排出されます。



- 2 microSDカードを取り出す。

電源を入れる/切る

電源を入れる

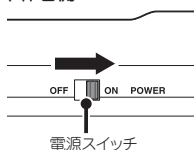
DC コードを接続している場合

1 車のエンジンを始動する。

2 本体の電源スイッチを「ON」にする。

またはリモコンの電源ボタンを約3秒間押し続けます。電源が入るとウェルカムボイスで、シートベルトの着用または全国交通安全運動週間の案内や飲酒運転警告をお知らせします。

本体右側



リモコン

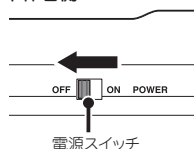


* リモコンによる電源ON操作はリモコンにより電源OFFした後、有効となります。

電源を切る

1 本体の電源スイッチを「OFF」にする。
またはリモコンの電源ボタンを約3秒間押し続けます。約1秒後反則金データベースが表示されますが、そのまま押し続けてください。

本体右側




リモコン



オープニング画面

* ご購入後、はじめて電源を入れた日が交通安全運動期間中の場合、交通安全運動期間中の案内はおこないません。シートベルトの着用案内をお知らせします。また、はじめて電源を入れた時間が夜間の場合でも飲酒運転警告はおこないません。

 注意	始めてお使いになる場合
	GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが（約15分程度）、これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は電源を入れ直してください。GPS測位が確定すると「トピボン、GPSを測位しました。」とお知らせします。



通常時はシートベルト着用のお知らせをします。



飲酒運転警告機能の設定が「オン」の場合、夜間に本機の電源が入ったときにお知らせします。



4月6日～4月15日の春の交通安全運動週間にお知らせします。

* 4年に一度おこなわれる統一地方選挙のある年だけ、5月11日～5月20日に変更になります。

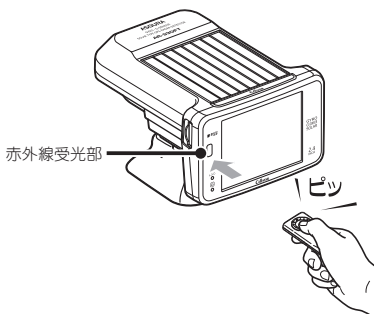


9月21日～9月30日の秋の交通安全運動週間にお知らせします。

リモコンの操作

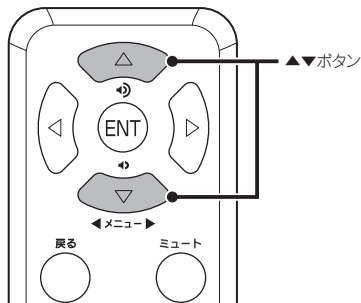
音量の調整

リモコンの操作をするときは、リモコンを図のように持ち、本体の赤外線受光部に向けてボタンを押してください。



本機のスピーカーから出力される音量を調整します。

1 ▲▼ボタンを押して音量を調整する。



数秒後、待受画面に戻ります。



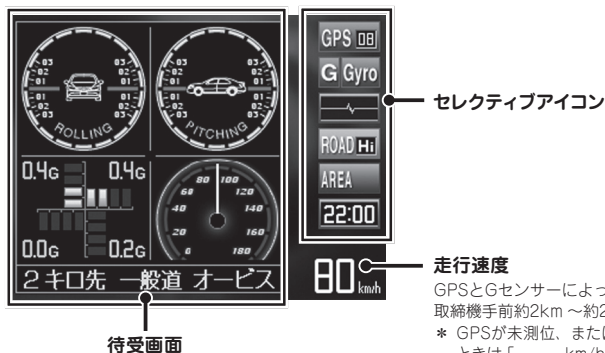
注意

- リモコンを紛失すると、本機の操作をおこなうことができません。紛失しないよう、十分ご注意ください。
- 本体の赤外線受光部およびリモコンの赤外線送信部に直射日光が当たっている場合、リモコンが操作できなくなる場合があります。これは本機の製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

待受画面の見方

本機が起動すると、次の待受画面を表示します。各種警告や案内をおこなうたびに画面が切り替わります。(P32参照)

- * 待受画面はDC12V入力時のみ表示されます。
- * 表示されるデータは目安としてご使用ください。
- * 工場出荷時は、マルチモニターが表示されます。



走行速度

GPSとGセンサーによって、走行速度を測定し表示します。
取締機手前約2km ~ 約200m間で、制限速度超の場合は赤色に表示します。
* GPSが未測位、またはGセンサーとジャイロセンサーのみで計測しているときは「--- km/h」と表示されます。

セレクトティブアイコン

画面に表示するアイコンをお好みで選択し、最大6個まで表示することができます。選択したアイコンは下記の優先順位にそって、上から表示されます。(P32、P44参照)

表示優先順位	アイコン	内容
1	GPS	測位しているGPSの状況と数を表示します。 グレー：測位 赤：未測位
2	Gセンサー ジャイロセンサー	Gセンサー、ジャイロセンサーの状況を表示します。 グレー：使用しているとき 赤：使用していないとき コーナーが青：強く検知したとき
3	無線（黄色） レーダー（紫色）	無線またはレーダ波の受信状態を表示します。 — 通常時 ~ (5段階)受信状態
4	ロード自動選択	ロード自動選択(P32参照)の状態を表示します。 オールのとき シティのとき ハイウェイのとき 設定をオフにしたとき
5	駐禁 待伏せエリア	駐車禁止エリアのとき 待伏せエリアのとき
6	時間	現在の時刻を表示します。
7	音量	音声出力の状態を表示します。 マナーモードが設定されているとき 音量0（ミュート時も含みます）
8	L.S.C. (ロードスピード キャンセル)	L.S.C.の状態を表示します。 L.S.C.設定速度以上の走行時 L.S.C.設定速度以下の走行時 L.S.C.設定速度がオフのとき
9	SD	microSDカード挿入時に表示/SDカードにアクセスしているときは点滅表示します。
10	方位	方位を表示します。

待受画面

マルチモニター

マルチモニター 文字警告

傾斜計、スピードメーター、Gモニターを組み合わ表示します。



- ① 傾斜計
Gセンサーから測定した車両の傾斜を表示します。
- ② Gモニター
Gセンサーから測定した車両にかかるGを表示します。
- ③ スピードメーター
- ④ 警告/案内表示
文字で警告や案内をお知らせします。文字警告設定にしていな場合や警告/案内動作がない場合は日付、曜日、時刻を表示します。

Gモニター

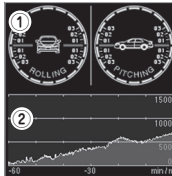
Gセンサーから測定した車両にかかるGをグラフで表示します。



- ① フロントG
 - ② 右サイドG
 - ③ リアG
 - ④ 左サイドG
- * 常に一定方向のGを表示している場合、水平な場所で電源を入れなおしてください。
* 取付状態によっては、正確にGモニターが表示しない場合があります。

傾斜計 高度計

Gセンサーから測定した車両の傾斜と、GPSから測定した高度を表示します。



- ① 傾斜計
Gセンサーから測定した車両の傾斜を表示します。
- ② 高度計
現在から60分前までの高度をグラフで表示します。

衛星情報

測定しているGPS衛星の位置や数を表示します。



- ① GPS衛星番号
現在、測位しているGPS衛星の番号を表示します。最大12のGPSを受信します。* 10基のGPS衛星を表示します。
- ② GPS衛星の位置
現在、測位しているGPS衛星の位置を表示します。
Hi 高感度で測位している衛星
Low 低感度で測位している衛星

エコドライブ

急加減速やアイドル時間、CO₂排出量などをGPSやGセンサーから測定し、エコ運転を文字で案内します。

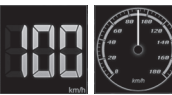
- * CO₂排出量は事前の設定が必要です。(マイカー情報登録 P44参照)
- * 取付状態によっては、正確にエコドライブを表示しない場合があります。(P8参照)



- ① エコ速度
走行速度50km/h～100km/h間で加減速の少ない走行が連続1分間以上継続したとき点数が加算します。
- ② 急加速
感知したときに減算されます。
- ③ 急減速
感知したときに減算されます。
- ④ アイドル時間
アイドリング時間を判定して点数が減算されます。
- ⑤ 総合評価
①～④の評価項目から判定して点数を表示します。
- ⑥ 運転時間
電源を入れてからの時間を表示します。
- ⑦ 走行距離
GPSによって、電源を入れてからの走行距離を表示します。
- ⑧ 平均速度
走行距離と運転時間から算出した平均速度を表示します。
- ⑨ CO₂排出量
設定した自車の走行燃費をもとに走行状況からCO₂排出量を算出し表示します
- ⑩ エコアナウンス
エコ運転の内容を表示します。

デジタルメーター

アナログメーター



時間 カレンダー 1

時間 カレンダー 2



デジタルフォトフレーム

詳しくは、専用サイトをご覧ください。
<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

オフ

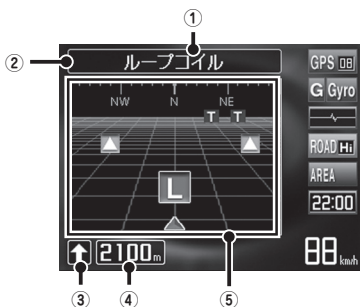
待受画面を非表示にします。

警告案内画面の見方

取締機などの警告や案内時の動き

モーションエリアビュー

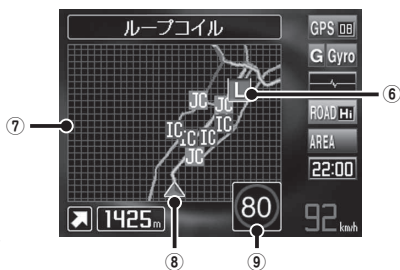
(取締機手前約3km以内)



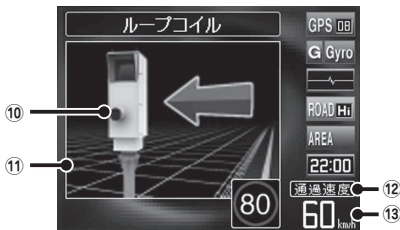
- * DC12V入力時のみ表示できます。
- * モーションエリアビューは、駐車禁止エリア、制限速度切り替えポイント、県境アナウンス、凍結注意、盗難多発エリア、交番、小学校・中学校・高等学校、高速道インターチェンジ、ジャンクション、トンネル、文字警告では表示されません。
- * モーションエリアビューの表示/非表示を設定することができます。(P32参照)

GPS警告

(取締機手前約2km～約200m)



(取締機手前約200m～約0m)



- ① 取締機などの名称
③で警告している取締機などの名前を表示します。
- ② ③で警告している取締機がある道路種をお知らせします。

緑色	高速道
青色	一般道

- ③ 取締機のある方向
自車位置から取締機などが設置されている方向を矢印で表示します。
- ④ 取締機までの距離
自車位置から取締機などが設置されている地点までの距離を表示します。
- ⑤ 取締機などの位置
③で警告しているアイコンは、点滅してお知らせします。

H	新Hシステム	
L	ループコイル	
LH	LHシステム	赤色
NH	NHシステム	
O	レーダー式オービス	
SG	信号無視監視機	
▲	その他のポイント	緑色
T	取締りポイント	青色
U	ユーザーポイント	黄色

- ⑥ 取締機の位置
取締機などが設置されている位置を表示します。
- ⑦ ズームマップ表示
取締機などに近づくとき地図が拡大表示します。
* 警告パターンの設定(32ページ参照)を「実写案内」に設定すると、ズームマップは表示されません。

- ⑧ 自車位置
自車位置を表示します。
- ⑨ 制限速度
取締機などの制限速度を表示します。
- ⑩ 取締機のイラスト
イラストは取締機の種類と設置されたカメラ位置(道路の左/中央/右)によって変化します。
* microSDカードスロットに実写案内用画像が記録されたmicroSDカードを挿入して、警告パターンの設定(32ページ参照)を「実写案内」に設定すると、警告画面が実写に変わります。(一部アニメ警告でお知らせします。)
- ⑪ 制限速度超の場合、赤色点滅します。
- ⑫ 通過速度の案内

白色	通過速度が制限速度内のとき
赤色	通過速度が制限速度超のとき

- ⑬ 通過速度
制限速度超の場合は赤色で表示します。

各種GPS警告案内例

速度取締機、信号無視監視機の警告動作

4ステップGPS警告（速度取締機の約2km手前から最大4回）でお知らせします。

例：首都高速、ループコイルの場合



- * 距離のお知らせは、走行状況によって2km先/2km以内、1km先/1km以内、500m先/500m以内と変化します。
- * 一般道は、約1km手前から3ステップGPS警告になります。
- * ステップ2、ステップ3のときは、取締機カウントダウンを設定している場合、取締機までの距離を100m刻みで案内します。
- * トンネル内ではステップ3でズームマップ表示をおこないません。
- * トンネル内では取締機カウントダウンおよびカメラ位置警告をおこないません。

ステップ1（約2km手前）



ズームマップが表示されます。→ 4ステップGPS警告開始。

高速道	♪ピンポン 2km先 首都高速 ループコイル に注意してください。
一般道	
トンネル	♪ピンポン 2km先 首都高速 トンネル内LHシステムに注意してください。

ステップ2（約1km手前）



高速道	♪ピンポン 1km先 首都高速 ループコイル に注意。制限速度 80km/h以下です。
一般道	* 制限速度を超過している場合（例：制限速度80km/h） ♪ピンポン 制限速度 80km/h以下 です。危険です。スピード落として。
トンネル	♪ピンポン この先 首都高速 トンネル内LHシステムに注意。制限速度80km/h以下です。

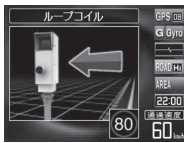
ステップ3（約500m手前）



高速道	♪ピンポン 500m先 首都高速 ループコイル に注意してください。
一般道	
トンネル	♪ピンポン まもなく 首都高速 トンネル内LHシステムに注意してください。



ステップ4（約200m手前）



高速道	♪ピンポン カメラは 左側 です。通過速度は 60km/h以下です。
一般道	

ディスプレイの警告画面は、ソーラー使用時には約10秒間、DC12V使用時または 追跡表示機能がオンの場合は連続で表示されます。



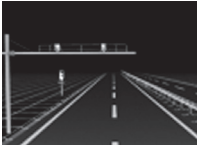
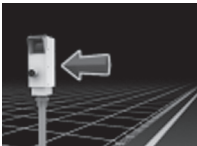
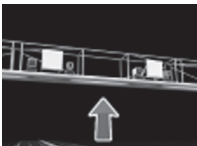

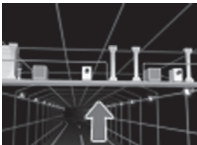
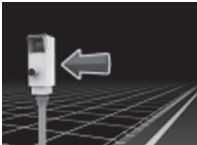
注意

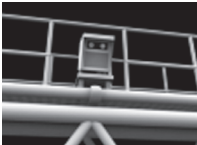



- 通過速度の警告は4ステップGPS警告中の約200m手前で、警告を開始した時点に計測した速度をお知らせします。GPSで計測した速度と車のスピードメーターでは計測方法が違うため、同時点の計測であっても異なる場合があります。
- 本機で表示するズームマップは警告中のポイントに対するもので、実際の走行中の道路と異なる場合があります。
- Gセンサー +ジャイロセンサーで動作している場合は、走行速度は表示されません。



警告の種類と内容

GPS警告

microSDカードスロットに実写案内用画像が記録されたmicroSDカードを挿入して、警告パターンの設定(32ページ参照)を「実写案内」に設定すると、警告画面が実写に変わります。(一部アニメ警告でお知らせします。)



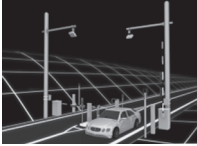
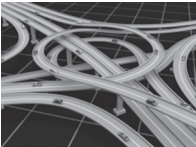
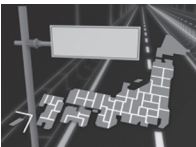



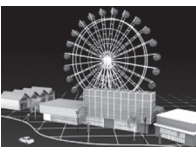



警告内容	警告画面
オービス レーダー波(マイクロ波)を車に当てて走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。 * 画面はカメラの向きにより異なります。	
ループコイル 複数のループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。 * 画面はカメラの向きにより異なります。	
Hシステム レーダー波と異なる電波を使用します。事前に「速度超過」などを速度警告板に表示し、無視した違反車両をデジタルカメラで撮影します。	
LHシステム 複数のループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をデジタルカメラで撮影します。	
トンネル内速度取締機 トンネル内の速度取締機を追跡、警告します。	
トンネル出口速度取締機 トンネル出口付近の速度取締機をトンネル内から追跡、警告します。 * 画面は取締機の種類により異なります。	

警告内容	警告画面
Nシステム 盗難車両の発見、自動車を使用した重要事件の犯人検挙のために自動でナンバーを読み取ります。	
NHシステム 走行車両をデジタルカメラで撮影し、その画像のプレから走行速度を算出して違反車両を特定します。	
信号無視監視機 信号無視の違反車両を監視します。	
過積載監視システム 路面に設置された重量測定用の踏み台と道路上方のカメラで、大型車の重量オーバーを監視します。	
警察署 緊急トラブルなどにも安心と安全運転をサポートするため、全国各地の警察署を登録しています。 * レーダー感度が「オート」設定の場合、警告開始から約120秒間は、感度が「エクストラ」に固定されます。	
交番・派出所・駐在所 全国各地の交番、派出所、駐在所を登録しています。 * 音声はすべて「交番」での案内となります。	

警告内容	警告画面
交通警察隊 交通検問所 取締りポイント 待伏せエリア	
<p>交通警察隊： 交通警察隊を登録しています。</p> <p>交通検問所： 一般道では道路脇に、高速道では料金所脇の高速隊詰所やサービスエリアに設置されています。</p> <p>取締りポイント： 主に速度取締りがおこなわれている可能性の高いポイントです。ポイントの1km手前と500m手前（一定の速度より速い場合のみ）で警告します。</p> <p>待伏せエリア： シートベルト、一時停止、飲酒、携帯電話、信号無視、一方通行、右左折禁止、通行区分違反、その他の取締りがおこなわれている可能性の高いエリアです。</p> <p>なお DC12V 入力または追跡表示機能がオンのときは、待伏せエリア内ではディスプレイに  マークを表示します。</p> <p>* レーダー感度が「オート」設定の場合、警告開始から約120秒間は、感度が「エクストラ」に固定されます。</p>	
駐車禁止エリア	
<p>公表されている取締り活動ガイドラインと当社調査による、駐車禁止エリアなので、標識などによる駐車禁止場所では、お知らせしない場合があります。</p> <p>なお DC12V 入力または追跡表示機能がオンのときは、駐車禁止エリア内ではディスプレイに  マークを表示します。</p>	
事故多発エリア	
<p>事故発生率の高いエリアです。</p>	
盗難多発エリア	
<p>盗難多発ポイントを、発生の多い時間帯で低速走行時にお知らせします。</p>	


警告内容	警告画面
制限速度切り替わりポイント	
<p>制限速度が切り替わる付近でお知らせします。制限速度アップでは上向き矢印を表示、制限速度ダウンは下向き矢印を表示します。</p>	
平均速度超過警告（音声のみ）	
<p>当社が高速道や有料道路に設定した計測ポイント間での平均速度を計測し、走行している道路の制限速度から超過している場合、音声で警告します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 制限速度切り替わりポイントでは、そこまでの平均速度をお知らせし、再度そこからの平均速度を計測します。 * 高速道を降り、一般道を走行中、40km/hを下回らない場合、一般道でも案内することがあります。 * 平均速度超過警告機能は、当社が設定した計測ポイントを40km/h以上で通過した場合に平均速度の計測を開始します。 * 40km/hを下回った場合、平均速度超過警告機能を終了し、そこまでの平均速度をお知らせします。 * DC12Vの入力が必要です。 	
高速道凍結注意アナウンス	
<p>高速道のトンネルや橋付近で、凍結に注意が必要なポイントをお知らせします。</p> <p>* 12月中旬～2月のみ。</p>	
急カーブ	
<p>目前の急カーブや、山間部のカーブが連続している場合にお知らせします。</p> <p>* 画面はカーブの向き・種類により異なります。</p>	
トンネル入口案内	
<p>全長1km以上のトンネル入口と、ヘッドライト点灯を案内します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速）では入口を案内しません。 * 夜間はヘッドライト点灯を案内しません。 	
トンネル出口案内	
<p>全長1km以上のトンネル出口と、ヘッドライト消灯を案内します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 有料道路、都市高速（首都高速、阪神高速）では出口を案内しません。 * 夜間はヘッドライト消灯を案内しません。 	

警告の種類と内容(つづき)

警告内容	警告画面	警告内容	警告画面
<p>トンネル内急加減速警告 (音声のみ)</p> <p>全長 1km 以上のトンネル走行中、急加速、急減速を感知した場合、音声で警告します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * トンネル案内が「オフ」の場合は警告しません。(P28参照) * 有料道路、都市高速(首都高速、阪神高速)では警告しません。 		<p>パーキングエリア</p> <p>全国の高速道路に併設されているパーキングエリアを登録しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> * ガソリンスタンドが併設されている場合、ガソリンスタンド会社と営業時間をお知らせします。 	
<p>高速道インターチェンジ案内</p> <p>インターチェンジの手前でお知らせします。</p>		<p>スマートインターチェンジ</p> <p>高速道路にある、一部のサービスエリア、パーキングエリアに併設されている ETC 専用の出入口です。</p> <ul style="list-style-type: none"> * ガソリンスタンドが併設されている場合、ガソリンスタンド会社と営業時間をお知らせします。 	
<p>高速道ジャンクション案内</p> <p>ジャンクションの手前でお知らせします。</p>			
<p>県境アナウンス</p> <p>県境をお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 北海道、沖縄では対象エリアがないため、お知らせしません。 		<p>小学校・中学校・高等学校</p> <p>学校付近でお知らせします。</p>	
<p>道の駅</p> <p>一般道に併設されている道の駅をお知らせします。</p>		<p>ユーザーメモリ</p> <p>ユーザーメモリで記録したポイントを案内します。(P39 参照)</p>	
<p>ハイウェイオアシス</p> <p>高速道に併設されているハイウェイオアシスをお知らせします。</p>		<p>GPS スポット追加機能</p> <p>追加された GPS スポットを案内します。(P46 参照)</p>	
<p>サービスエリア</p> <p>全国の高速道路に併設されているサービスエリアを登録しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> * ガソリンスタンドが併設されている場合、ガソリンスタンド会社と営業時間をお知らせします。 		<p>自宅案内</p> <p>自宅から約 200m 圏内に入ると案内します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 事前に自宅を登録する必要があります。(P34参照) 	

各種無線警告

- * 警察活動無線、署活系無線、レッカー無線、消防無線、消防ヘリテレ無線、新救急無線、JH無線、警察電話無線、警備無線の受信には、DC12Vの入力が必要です。
- * 各種無線(350.1MHzを除く)の警告は、連続的に受信すると自動的に画面表示のみとなり、警告音やボイスアシスト(音声)をミュート(消音)します。
- * セレクティブアイコンで「無線 レーダー」を設定すると、無線の受信状態を表示します。(P18参照)

警告内容	警告画面
350.1MHz 警察デジタル無線 警察活動無線 署活系無線 取締特小無線 警察電話無線	
350.1MHz:	主に速度取締り現場などで、測定係と停止係の間で使用される無線です。
警察デジタル無線:	主に警察関係車両と本部との連絡に使用される無線です。
警察活動無線:	主に機動隊の連絡に使用される無線です。
署活系無線:	警察署の管轄区域単位で、警察署と警察官、または警察官同士の通信に使用される無線です。
取締特小無線:	路上での取締り現場などで使用される無線です。
警察電話無線:	警察関連の自動車電話などで使用される無線です。

バリケードアラーム

検問などがおこなわれている可能性が高いと判断した場合にお知らせします。



警告内容

警告画面

カーロケーター

警察関係車両などに搭載され、GPS信号により算出された自車位置情報をセンターなどに送信するシステムです。カーロケーターを受信すると、受信電波の強弱に応じて緊急状況かどうかを判断してお知らせします。

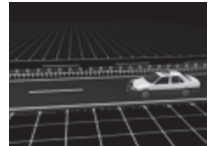
- * 本機は407.725MHzのカーロケーターのみ受信できます。
- * カーロケーターシステムは、導入されていない地域、搭載されていない車両、システムの変更などの理由により、受信警告できない場合があります。
- * 警察関連車両に追尾されていても、カーロケーターを受信しない場合があります。カーロケーターシステムはすべての警察関連車両に搭載されているわけではなく、また搭載されていても常時電波を発信しているわけではありません。一部地域ではシステムが異なる場合もあります。このような場合には警察関連車両の接近をお知らせすることができません。

1回目の受信

電波:弱

警察車両 1km 以内

- * カーロケーターの感度(P30参照)が「ロー」の場合、受信できません。



電波:強

警察車両 500m 以内



ニアミスアラーム(連続受信)

連続して受信したときに、電波の強弱に応じて緊急状態であるかどうかをお知らせします。







電波:弱




電波:強






警告の種類と内容(つづき)

警告内容	警告画面
消防無線 消防署と消防関係車両などの連絡に使用される無線です。	
ヘリテレ無線 事件、事故、取締りなどで、ヘリコプターと地上間で使用される無線です。 <ul style="list-style-type: none"> * 一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。 	
消防ヘリテレ無線 災害時などにヘリコプターと地上間で使用される無線です。 <ul style="list-style-type: none"> * 一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。 	
新救急無線 主に東京都内で使用される救急無線です。	
JH 無線 各 NEXCO (旧日本道路公団) のノンロール車両と本部の間で使用される無線です。 <ul style="list-style-type: none"> * デジタル通信の場合、会話を聞くことはできません。 	
警備無線 各警備会社で使用される無線です。	

警告内容	警告画面
レッカー無線 駐車違反や事故処理などでレッカー業者が使用する無線です。 <ul style="list-style-type: none"> * レッカー無線は簡易業務用無線のため、その他業種の無線も受信警備無線します。あらかじめご了承ください。 * 車の走行速度が約50km/h以上の場合、レッカー無線は受信しません。 	

レーダー波警告

- * セレクティブアイコンで「無線 レーダー」を設定するとレーダー波の受信状態を表示します。(P18参照)

警告内容	警告画面
レーダー警告 レーダー波をお知らせします。アラームはレーダー波の強さによって変化します。 <ul style="list-style-type: none"> * 警告がはじまって約30秒後、警告音量が自動的に小さくなります。 	
ステルスアラーム 瞬時の強いレーダー波をステルス波と識別してお知らせします。 <ul style="list-style-type: none"> * 警告がはじまって約10秒後、警告音量が自動的に小さくなります。 * ステルスアラームはステルス波の性質上、余裕を持ってお知らせできません。 	
対向車線レーダー警告 オートキャンセル レーダー波を使用した速度取締機が対向車線に設置されている場合、走行速度が制限速度以下なら、警告は自動的にキャンセルされます。	

各種設定の変更

BESTセレクト機能

本機の設定には下記のように4つのモードがあり、あらかじめ設定メニュー（P28～P37参照）を各モードに最適な内容にしています。

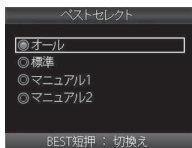
4つのモードはワンタッチ操作で切り替えられます。

モード	モード内容
オールモード	すべての警告/案内がオンになります。
標準モード (工場出荷時の設定)	ベストセレクトされた機能がオンになっています。
マニュアルモード1	初期設定が高速道向けに設定されています。お好みに合わせて各種機能の設定を変更できます。
マニュアルモード2	初期設定が一般道向けに設定されています。お好みに合わせて各種機能の設定を変更できます。

BESTセレクト機能の切り替え

1 BESTボタンを押す。

現在の設定モードをお知らせします。



2 再度BESTボタンを押して設定モードを切り替える。

押すたびに設定モードが切り替わります。

数秒後、待受画面に戻ります。

- * 「マニュアルモード1/2」から「標準モード」「オールモード」に切り替えても、マニュアルモードで個別に変更した設定内容は記憶されています。

設定チェック機能

1 BESTボタンを約1秒間押し続ける。

各機能の設定内容を音声と画面でお知らせします。

設定チェック機能を終了するには、再度**BESTボタン**を押します。

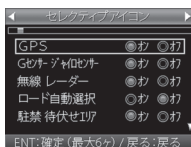
機能設定と基本設定の変更

28～37ページの各設定メニューを変更する場合は以下の手順をおこないます。

- * 「マニュアルモード1」「マニュアルモード2」の「基本設定」を変更したい場合は、**◀▶ボタン**を押して「基本設定」を選択し、**ENTボタン**で確定後、以下の手順をおこないます。

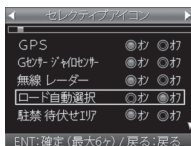
1 ◀▶ボタンを押して変更する設定メニューを選ぶ。

- * **▶ボタン**または**◀ボタン**を長く押し続けると、メニューが順次切り替わります。



<例>
設定メニューから「セレクトアイコン」を選んだ場合

2 ▼▲ボタンを押して設定内容を切り替える。



<例>
設定内容から「ロード自動選択」を選んだ場合

3 ENTボタンを押して、設定を確定する。

4 引き続き他の設定を変更する場合、◀▶ボタンを押して設定メニューを選ぶ。

設定を終了して待受画面に戻る場合は、**戻るボタン**を押します。また何もボタンを押さなければ、約15秒後に自動的に戻ります。

機能設定一覧

設定内容を変更する手順は、27ページを参照してください。

設定メニュー (◀▶ボタン)	メニューの説明
取締機	取締機を警告する道路の種類を設定します。
Nシステム	Nシステムを警告する道路の種類を設定します。
取締りポイント	取締りポイントを警告する道路の種類を設定します。
待伏せエリア	待伏せエリアを警告する道路の種類を設定します。
制限速度切替り	制限速度が切り替わるポイントを警告するか設定します。 * 制限速度よりも走行速度が速い場合は「スピードに注意してください。」と警告します。
過積載取締機	過積載取締機を警告する道路の種類を設定します。
警察署	警察署 / 交通警察隊を警告する道路の種類を設定します。
交通検問所	交通検問所を警告する道路の種類を設定します。
駐車禁止エリア	駐車禁止エリアを警告するか設定します。
盗難多発エリア	盗難多発エリアを警告するか設定します。
高速道インターチェンジ案内	高速道インターチェンジを案内するか設定します。
高速道ジャンクション案内	高速道ジャンクションを案内するか設定します。
急カーブ	急カーブを警告する道路の種類を設定します。
事故多発エリア	事故多発エリアを警告する道路の種類を設定します。
トンネル案内	全長1km以上のトンネルで、安全運転に向けた3つの警告をする道路の種類を設定します。 ・トンネル入口案内 ・トンネル出口案内 ・トンネル内急加減速警告 * 個別のオン/オフの設定はできません。
高速道凍結注意アナウンス	高速道の凍結注意を警告するか設定します。
道の駅	道の駅 / ハイウェイオアシスを案内する道路の種類を設定します。
サービスエリア	サービスエリアを案内するか設定します。
県境アナウンス	県境をお知らせする道路の種類を設定します。
交番	交番 / 派出所 / 駐在所をお知らせするか設定します。

- * の項目は変更できません。
- * の項目を変更する場合は、あらかじめ「マニュアルモード1」または「マニュアルモード2」に切り替えてください。
- * 電源を切っても各設定は保存されます。
- * 表のBESTセレクトは、初期設定の内容です。

BEST セレクト (モード)				設定内容 (▼▲ボタン)		参照
オール	標準	マニュアル1	マニュアル2			
オール	オール	ハイウェイ	シティ	オール ハイウェイ シティ	:高速道 / 一般道に対して警告します。 :高速道に対して警告します。 :一般道に対して警告します。	P22
オール	オール	ハイウェイ	シティ	オール	:高速道 / 一般道に対して警告します。	P22
オール	オール	ハイウェイ	シティ	ハイウェイ シティ	:高速道に対して警告します。 :一般道に対して警告します。	P23
オール	オール	ハイウェイ	シティ	オフ	:警告しません。	P23
オール	標準	標準	標準	オール 標準 オフ	:すべてのポイントに対して警告します。 :制限速度が下がるポイントのみ警告します。 :警告をしません。	P23
オール	オール	ハイウェイ	シティ	オール	:高速道 / 一般道に対して警告します。	P22
オール	オフ	オフ	オフ	ハイウェイ シティ	:高速道に対して警告します。 :一般道に対して警告します。	P22
オール	オール	ハイウェイ	シティ	オフ	:警告しません。	P23
オン	オフ	オフ	オフ	オン	:警告します。	P23
オン	オフ	オフ	オフ	オフ	:警告しません。	P23
オン	オフ	オフ	オフ	オン	:案内します。	P24
オン	オフ	オフ	オフ	オフ	:案内しません。	P24
オール	オフ	オフ	オフ	オール ハイウェイ シティ オフ	:高速道 / 一般道に対して警告します。 :高速道に対して警告します。 :一般道に対して警告します。 :警告しません。	P23 P24
オール	オフ	オフ	オフ	オール ハイウェイ シティ オフ	:高速道 / 一般道に対して案内します。 :高速道に対して案内します。 :一般道に対して案内します。 :案内しません。	P24
オン	オフ	オフ	オフ	オン オフ	:案内します。 :案内しません。	P24
オール	オフ	オフ	オフ	オール ハイウェイ シティ オフ	:高速道 / 一般道に対して案内します。 :高速道に対して案内します。 :一般道に対して案内します。 :案内しません。	P24
オン	オフ	オフ	オフ	オン オフ	:お知らせします。 :お知らせしません。	P22

機能設定一覧（つづき）

設定内容を変更する手順は、27ページを参照してください。

設定メニュー（◀▶ボタン）	メニューの説明
小学校	小学校をお知らせするか設定します。
中学校	中学校をお知らせするか設定します。
高等学校	高等学校をお知らせするか設定します。
レーダー感度	レーダー波の受信感度を設定します。
L.S.C.	レーダー警告音を自動的にキャンセルする速度を設定します。
カーロケ	カーロケターを受信する感度を設定します。
350.1MHz	350.1MHz 無線を警告するか設定します。
デジタル無線	デジタル無線を警告するか設定します。
警察活動無線	警察活動無線を警告するか設定します。 * DC12V入力時のみ警告します。
署活系無線	署活系無線を警告するか設定します。 * DC12V入力時のみ警告します。
取締特小	取締特小無線を警告するか設定します。
警察電話	警察電話を警告するか設定します。 * DC12V入力時のみ警告します。
ヘリテレ無線	ヘリテレ無線を警告するか設定します。
レッカー無線	レッカー無線を警告するか設定します。 * DC12V入力時のみ警告します。
消防無線	消防無線を警告するか設定します。 * DC12V入力時のみ警告します。
消防ヘリテレ	消防ヘリテレ無線を警告するか設定します。 * DC12V入力時のみ警告します。
救急無線	救急無線を警告するか設定します。 * DC12V入力時のみ警告します。
JH 無線	JH 無線を警告するか設定します。 * DC12V入力時のみ警告します。
警備無線	警備無線を警告するか設定します。 * DC12V入力時のみ警告します。

- * の項目は変更できません。
- * の項目を変更する場合は、あらかじめ「マニュアルモード1」または「マニュアルモード2」に切り替えてください。
- * 電源を切っても各設定は保存されます。
- * 表のBESTセレクトは、初期設定の内容です。

BEST セレクト (モード)					設定内容 (▼▲ボタン)		参照
オール	標準	マニュアル1	マニュアル2				
オン	オフ	オフ	オフ				P24
オン	オフ	オフ	オフ	オン	:お知らせします。		P24
オン	オフ	オフ	オフ	オフ	:お知らせしません。		P24
エキストラ	エキストラ	エキストラ	エキストラ	オート	:走行速度に合わせて自動で変化します。		-
					約50km/h以上	エキストラ (高感度)	
					約50 ~ 30km/h	ウルトラ (中感度)	
					約30km/h未満	スーパー (低感度)	
					走行速度が計測できない	エキストラ固定	
				エキストラ	:受信感度を「高」に固定します。		
				ウルトラ	:受信感度を「中」に固定します。		
				スーパー	:受信感度を「低」に固定します。		
30キロ	30キロ	50キロ	30キロ	30キロ	:30km/h 以下のときにキャンセルします。		P18
				40キロ	:40km/h 以下のときにキャンセルします。		
				50キロ	:50km/h 以下のときにキャンセルします。		
				60キロ	:60km/h 以下のときにキャンセルします。		
				オフ	:L.S.C.を設定しません。		
感度ハイ	感度ハイ	感度ハイ	感度ハイ	感度ハイ	:受信感度を1km 範囲に広げます。		P25
				感度ロー	:受信感度を500m に範囲を狭めます。		
				オフ	:カーロケを設定しません。		
オン	オン	オン	オン				P25
オン	オン	オン	オン				P25
オン	オフ	オフ	オフ				P25
オン	オフ	オフ	オフ				P25
オン	オフ	オフ	オフ				P25
オン	オフ	オフ	オフ				P25
オン	オフ	オフ	オフ	オン	:警告します。		P26
オン	オフ	オフ	オフ	オフ	:警告しません。		
オン	オフ	オフ	オフ				P26
オン	オフ	オフ	オフ				P26
オン	オフ	オフ	オフ				P26
オン	オフ	オフ	オフ				P26
オン	オフ	オフ	オフ				P26
オン	オフ	オフ	オフ				P26

各種設定

基本設定一覧

設定内容を変更する手順は、27ページを参照してください。

設定メニュー (◀▶ボタン)	メニューの説明
待受画面	待受状態のときに表示される画面を設定します。 * DC12V入力時のみ表示できます。 * 文字警告の場合、モーションエリアビュー表示をおこないません。
セレクトティブアイコン	画面に表示するアイコンを設定します。 * 最大6ヶまで設定できます。
画面明るさ 昼間	昼 / 夜それぞれの画面の明るさを設定します。
画面明るさ 夜間	
ロード自動選択	道路の種類に適した GPS 警告をお知らせするために、走行している道路の種類（高速道 / 一般道）を自動で判別するが設定します。 * 道路の種類が一般道が高速道かを自動で判別し、警告内容を設定するため、走行状態によっては実際と異なる設定になる場合があります。確実に警告を出したい場合は、ロード自動選択を「オフ」に設定してご使用ください。
モーションエリアビュー	取締機などの手前約 3km 以内で表示されるモーションエリアビューを表示するか設定します。 * DC12V入力時のみ表示できます。 * 非表示（オフ）にした場合は、代わりに待受画面を表示します。
警告パターン	各種警告を表示する際のパターンを設定します。 * 実写案内を表示したい場合は、実写案内用画像が記録されたmicroSDカードを本機に挿入しておく必要があります。データがない場合は、アニメ警告が表示されます。
速度取締機カウントダウン	4ステップ GPS 警告時に、取締機までの距離約1km 手前から約 200 m手前の間、100m 刻みでお知らせするか設定します。
追跡表示	DC12V 入力のない状態で、DC12V 入力時と同じように速度取締機や信号無視監視機を通過するまで警告画面を表示し続けるか設定します。 以下のポイントは追跡表示されません。 急カーブ / 景境アナウンス / 高速道凍結注意アナウンス / 盗難多発エリア / 制限速度切替りポイント * 追跡表示をオフにした場合、警告画面は警告開始から約10秒で終了します。
平均速度超過警告	当社が設定した計測ポイント間での平均速度を計測し、走行している道路の制限速度から超過している場合、音声で警告するか設定します。 * DC12Vが入力されていないと動作しません。 * 制限速度切替りポイントでは、そこまでの平均速度をお知らせし、再度そこからの平均速度の計測をおこないます。 * 高速道を降り、一般道を走行中、40km/hを下回らない場合、一般道でも案内することがあります。 * 平均速度超過機能は、当社が独自に設定した計測ポイントを40km/h以上で通過した場合に平均速度の計測を開始します。 * 40km/hを下回った場合、平均速度超過機能を終了し、そこまでの平均速度をお知らせします。

- * マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。
- * 表のBESTセレクトは、初期設定の内容です。

BEST セレクト (モード)				設定内容 (▼▲ボタン)	参照
オール	標準	マニュアル1	マニュアル2		
	マルチモニター			マルチモニター / マルチモニター 文字警告 / G モニター 傾斜計 高度計 / デジタルメーター / アナログメーター 衛星情報 / 時間 カレンダー 1 / 時間 カレンダー 2 エコドライブ / デジタルフリップ / オフ	P19
	GPS オン / G センサー オン / 無線 レーダー オン / ロード自動選択 オフ / 駐禁 待伏せエリア オン / 時間 オフ / 音量 オフ / L.S.C. オン / SD オン / 方位 オフ			GPS/G センサー ジャイロセンサー / 無線 レーダー / ロード自動選択 / 駐禁 待伏せエリア / 時間 / 音量 / L.S.C./SD/ 方位	P18 P44
	3			1 :画面の輝度を最大にします。 ↓ 2 :画面の輝度を標準にします。	-
	4			4 :画面の輝度を最小にします。 ↓ 5 :画面の輝度を最小にします。	-
	オフ			オン :自動で道路の種類を判別します。 オフ :自動で道路の種類を判別しません。	P18
	オン			オン :表示します。 オフ :表示しません。	P20
	ズームマップ+アニメ警告			ズームマップとアニメ警告 ズームマップと実写案内 (SD) 実写案内 (SD)	P20
	オフ			オン :お知らせします。 オフ :お知らせしません。	P21
	オフ			オン :追跡表示します。 オフ :追跡表示しません。	P21 P42
	オフ			オン :警告します。 オフ :警告しません。	P23

基本設定一覧 (つづき)

設定内容を変更する手順は、27ページを参照してください。

設定メニュー (◀▶ボタン)	メニューの説明
M.S.C.	内蔵のムービングセンサーの感度を設定します。 * 本機をソーラーでご利用の場合、振動で電源が入らない場合や電源が切れない場合には、ムービングセンサーの感度を車に合わせて設定してください。
スクリーンセーバー	画面の焼きつきなどを軽減するスクリーンセーバー機能を実行するか設定します。 * 設定をオンにした場合、待受時間が約1分間経過すると実行します。
飲酒運転禁止	電源を入れたときに表示されるオープニング画面で、飲酒運転を警告するか設定します。 * 夜間に限ります。
安全運転アナウンス	安全運転に向けた3つのアドバイスをお知らせするか設定します。 ・長時間運転休憩案内 : 電源が入ってから2時間後 (以降2時間ごと) にお知らせします。 ・長距離走行案内 : 電源が入ってから100km 走行後 (以降100km ごと) にお知らせします。 ・ヘッドライト点灯案内 : 日没時刻にお知らせします。 * 個別のオン/オフの設定はできません。
日差し注意	太陽の位置が低いため運転時に日光がまぶしく感じる朝と夕方に、注意をお知らせするか設定します。 * マナーモード中はお知らせしません。
速度アラーム	走行速度が超えたときにアラームで警告する上限速度を設定します。
速度アラーム音	速度アラーム警告時に流れる音の種類を設定します。
時報アナウンス	毎正時に時刻をボイス (音声) またはチャイム音でお知らせするか設定します。
自宅	自宅の約200m圏内で、自宅の案内をするか設定します。 * 自宅、もしくはその近辺で記録する必要があります。
マイカー情報	待受画面のエコドライブに表示される、CO ₂ 排出量をより正確に知るためのマイカー情報を登録します。
走行ログ	走行ログを記録するかを設定します。 * DC12V入力時のみ記録できます。

- * マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。
- * 表のBESTセレクトは、初期設定の内容です。

BEST セレクト (モード)				設定内容 (▼▲ボタン)	参照
オール	標準	マニュアル1	マニュアル2		
	感度ミドル			感度ハイ : M.S.C. の感度を高くします。 (振動の少ない車用の設定) 感度ミドル : M.S.C. の感度を標準にします。 (標準の設定) 感度ロー : M.S.C. の感度を低くします。 (振動の多い車用の設定)	P45
	オフ			オン : 実行します。 オフ : 実行しません。	-
	オン			オン : 警告します。 オフ : 警告しません。	P16
	オン			オン : お知らせします。 オフ : お知らせしません。	-
	オフ			オン : お知らせします。 オフ : お知らせしません。	-
	オフ			80 キロ : 80km/h を超えた場合、警告します。 90 キロ : 90km/h を超えた場合、警告します。 100 キロ : 100km/h を超えた場合、警告します。 110 キロ : 110km/h を超えた場合、警告します。 120 キロ : 120km/h を超えた場合、警告します。 130 キロ : 130km/h を超えた場合、警告します。 オフ : 警告しません。	-
	アラーム 1			アラーム 1 アラーム 2 アラーム 3	-
	ボイス			ボイス チャイム 1 チャイム 2 オフ : お知らせしません。	-
	-			記録 : 自宅の位置を記録します。 消去 : 自宅の位置を消去します。	P24
	ガソリン, 8.0km/L			ガソリン, 平均燃費 ディーゼル, 平均燃費	P44
	オフ			オン : 走行ログを記録します。 オフ : 走行ログを記録しません。	P47

基本設定一覧（つづき）

設定内容を変更する手順は、27ページを参照してください。

設定メニュー（◀▶ボタン）	メニューの説明
走行ログ転送	内部メモリに記録された走行ログを、転送または消去します。
GPS スポット	microSD カードから本機へ GPS スポットをインポートします。
メモリ消去	設定ごとにカスタマイズしたメモリをリセットします。
データ情報	GPS データ、および実写案内用画像のバージョンを表示します。 GPS データ、および実写案内用画像を更新する際の目安としてお使いください。
初期化	本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。

- * マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。
- * 表のBESTセレクトは、初期設定の内容です。

BEST セレクト (モード)				設定内容 (▼▲ボタン)	参照
オール	標準	マニュアル1	マニュアル2		
		—		転送 : 走行ログを microSD カードに転送します。 消去 : 走行ログを消去します。	P47
		—		インポート開始	P46
		—		ユーザーメモリ GPS スポット プリセットポイント レーダーキャンセルエリア スキップメモリ	P38 } P41 P46
		—		-	P47
		—		開始	P48

GPSを利用した機能

GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するために、GPSの測位確定が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位が始まります。GPS測位が確定すると「♪ピンポン、GPSを測位しました。」とお知らせします。

また、GPSの信号が途切れた場合には、内蔵のGセンサーとジャイロセンサーにより計測を一定区間補完して警告などをおこないます。

GPS測位状態の確認

GPSの測位状態やGセンサー、ジャイロセンサーの状態は、セレクトアイコンやGPSランプで確認できます。詳しくは、7、18ページを参照してください。

⚠ 注意

お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります（約15分程度）これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は電源を入れ直してください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなりますので、ご注意ください。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中、またはGセンサー、ジャイロセンサーの計測中に限られます。
- 車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、本機のGPS測位ができなくなる場合があります。これは製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

GPS警告ポイントの消去

本機に登録されているGPS警告ポイントを消去することができます。この機能を使用することで、撤去された取締機などに対応することができます。

GPS警告ポイントの消去方法

- 1 消去したいポイントのGPS警告動作中に「♪ピンポン」と鳴るまで**戻るボタン**を押し続ける。

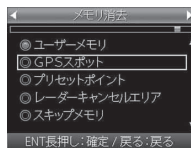
操作結果を音声でお知らせします。

GPS警告ポイント消去機能のリセット

GPS警告ポイント消去機能で消去したポイントをすべてリセットし、復帰させます。

- * 個別での復帰はできません。一括での復帰となります。
- * マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

- 1 ◀▶ボタンを押して「メモリ消去」を選ぶ。



- 2 ▼▲ボタンを押して「プリセットポイント」を選ぶ。

「プリセットポイント、プリセットポイント…」と繰り返しアナウンスされます。

- 3 「プリセットポイント消去しました」とアナウンスされるまで**ENTボタン**を押し続ける。

ユーザーメモリ



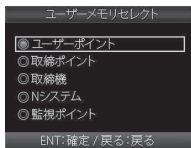
リモコンを使って、現在地のポイントを記録すると、ユーザーメモリとして案内します。記録したポイントは1km先から3ステップで案内します。

- * 制限速度の設定はできません。
- * 記録するには、GPSを測位した状態で約1km以上走行している必要があります。
- * 100箇所を越えると、100箇所目のポイントに上書きされます。

ユーザーメモリの記録

1 記録したいポイントで「トピンポン」と鳴るまで戻るボタンを押し続ける。

記録に成功した場合、「ユーザーメモリセレクト」画面が表示されます。



- ・ユーザーポイント
- ・取締ポイント
- ・取締機
- ・Nシステム
- ・監視ポイント

2 ▼▲ボタンを押してポイントの種類を切り替える。

- * ポイントの種類を15秒間確定しない場合、ユーザーポイントとして記録されます。

3 ENTボタンを押して記録を確定する。

■ ユーザーポイントとして記録した場合

結果	ボイスガイド
ポイント記録成功	ユーザーポイント記録しました。
ポイント記録失敗 (自車位置が計測できない)	トピンポン GPSを測位できません。
ポイント記録失敗 (走行データなし)	ユーザーポイント記録できません。

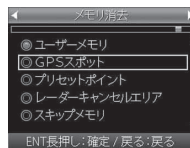
ユーザーメモリの個別消去

1 設定したユーザーメモリのGPS警告動作中に、操作結果がアナウンスされるまで戻るボタンを押し続ける。

ユーザーメモリの全消去

- * ユーザーメモリは一度消去するとデータを復元することはできません。消去操作は十分に注意しておこなってください。
- * マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

1 ◀▶ボタンを押して「メモリ消去」を選ぶ。



2 ▼▲ボタンを押して「ユーザーメモリ」を選択する。

「ユーザーメモリ、ユーザーメモリ…」と繰り返してアナウンスされます。

3 「ユーザーメモリ消去しました」とアナウンスされるまでENTボタンを押し続ける。

レーダーキャンセルエリア



レーダー警告音が必要ないと思われるエリアでは、GPSを使って半径約200m圏内のレーダー警告音をキャンセル（消去）することができます。

* 最大で100箇所のポイントをキャンセルできます。

レーダーキャンセルエリアの記録

1 消去したいエリアでのレーダー警告中に「♪ピンポン」と鳴るまでミュートボタンを押し続ける。

* GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

結果	ボイスガイド
エリア記録成功	♪ピンポン レーダーキャンセルエリア記録しました。
エリア記録失敗 (自車位置が計測できない)	♪ピンポン GPSを測位できません。
エリア記録失敗 (その他の理由)	♪ピンポン レーダーキャンセルエリア記録できません。

レーダーキャンセルエリアの確認

レーダー波の受信状態は、セレクトティブアイコンで確認できます。詳しくは、18ページを参照してください。

レーダーキャンセルエリアの個別消去

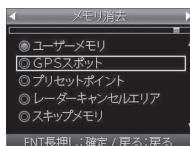
1 消去したいエリアでのレーダー警告中に「♪ピンポン」と鳴るまでミュートボタンを押し続ける。

* GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

レーダーキャンセルエリアの全消去

* マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

1 ◀▶ボタンを押して「メモリ消去」を選ぶ。



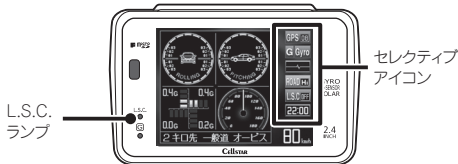
2 ▼▲ボタンを押して「レーダーキャンセルエリア」を選ぶ。

「レーダーキャンセルエリア、レーダーキャンセルエリア…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「レーダーキャンセルエリア消去しました」とアナウンスされるまでENTボタンを押し続ける。

ハイブリッドL.S.C. 機能

GPS測位中は、車の低速走行や停止時に、GPS未測位中は、車の振動が少ない状態のときにレーダー警告音を自動的にキャンセル（消音）します。



L.S.C.	走行状態	警告音	L.S.C. ランプ	セレクトティブアイコン
オン	L.S.C.設定速度以上の走行時または高振動時	あり	緑色*	
	L.S.C.設定速度以下の走行時または低振動時	なし（消音）	赤色*	
オフ	高振動時	あり	緑色*	
	低振動時	あり	橙色*	

* L.S.C.ランプは、内蔵バッテリーでの動作時は点滅表示、DC12Vでの動作時は点灯表示となります。

L.S.C. 機能の切り替え

1 ◀▶ボタンを押して「L.S.C.」を選ぶ。



- ・30キロ～60キロ
設定した速度以下のときにレーダー警告音をキャンセルします。
- ・オフ
L.S.C.を設定しません。

2 ▼▲ボタンを押して設定を切り替える。

3 ENTボタンを押して設定を確定する。

ワンスキップ

無線の受信警告動作を一回だけスキップ（強制終了）することができます。

1 無線を受信中にENTボタンを押す。
「♪ピッ」と鳴り、強制終了します。

スキップメモリ

各種無線のうち、特定のチャンネルを最大253チャンネル記録し、スキップ（受信拒否）し続けることができます。

* カーロケと350.1MHzはスキップできません。

スキップメモリの設定

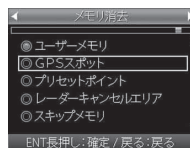
1 スキップしたい無線の受信警告動作中にBESTボタンを約1秒間押し続ける。
操作結果を音声でお知らせします。

* 電源をOFFにしても、記録されたスキップメモリは保持されます。

スキップメモリの全消去

* マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

1 ◀▶ボタンを押して「メモリ消去」を選ぶ。



2 ▼▲ボタンを押して「スキップメモリ」を選ぶ。

「スキップメモリ、スキップメモリ…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「スキップメモリ消去しました」とアナウンスされるまでENTボタンを押し続ける。

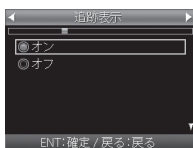
追跡表示機能

DC12V入力のない状態ではディスプレイのGPS警告表示は警告開始から約10秒で終了します。追跡表示機能をオンにすることで、DC12V入力時と同じように速度取締機や信号無視監視機を通過するまで警告画面を表示し続けることができます。

* 以下のポイントは追跡表示されません。

- ・急カーブ
- ・県境アナウンス
- ・高速道凍結注意アナウンス
- ・盗難多発エリア
- ・制限速度切替りポイント

1 ◀▶ボタンを押して「追跡表示」を選ぶ。



2 ▼▲ボタンを押して設定を切り替える。

3 ENTボタンを押して設定を確定する。

1 km圏内サーチ機能

現在地から半径約1km圏内に速度取締機またはユーザーメモリがあるかどうかを検索します。

1 「♪ピッ、サーチします。」とアナウンスされるまでENTボタンを押し続ける。

画面表示と音声で結果をお知らせします。

- * GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

結果	ボイスガイド
設置あり	♪ピッポン 1 km以内東名高速可変式ループコイルに注意してください。
設置なし	♪ピッポン ポイントありません。
自転車位置を計測できない	♪ピッポン GPSを測位できません。

通過速度履歴確認機能

速度取締機を通過したときの通過速度を画面表示と音声で確認することができます。

- * 確認できる通過速度は、最後に計測した通過速度1件のみとなります。
- * 本機の電源が切れると通過速度履歴データは消去されます。
- * トンネル内速度取締機の通過速度履歴確認はできません。

1 ENTボタンを押す。

画面表示と音声で前回の通過速度をお知らせします。

- * 履歴がない場合、「♪ブブブ」と鳴りま

音の設定

警告音のミュート

レーダー波警告や無線警告中に警告音をミュート（消音）します。

* 画面表示はおこないません。GPS警告はミュートできません。

1 警告動作中にミュートボタンを押す。

ミュート中はセレクトティブアイコンの「音量」で確認できます。（P18参照）



■ 各種無線を受信中の場合

ミュート中に約120秒間受信がなければ、ミュート機能は自動的に解除されます。

ミュート中に再度受信した場合、約120秒間ミュート機能が延長されます。

■ レーダー波警告中の場合

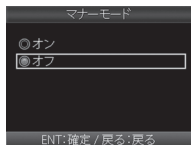
ミュート中、レーダーの受信が無くなった時点で、ミュート機能は自動的に解除されます。

* ミュートの動作中にミュートボタンを再度押すと、ミュートが解除されます。

マナーモード

レーダー受信時/GPS警告時/無線受信時にボイスアシスト（音声）と警告音を出力せず、メロディと画面表示だけで注意を促します。

1 電源ボタンを押す。



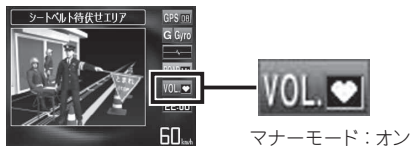
2 ▼▲ボタンを押して設定を切り替える。

3 ENTボタンを押して設定を確定する。

設定変更をおこなわない場合、数秒後、待受画面に戻ります。セレクトティブアイコンの「音量」で確認できます。（P18参照）

* マナーモード時は下記のアナウンスなどもミュートします。

- ・ 時報
- ・ 速度アラーム
- ・ 日差し注意
- ・ 安全運転アナウンス



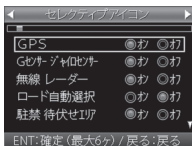
その他の機能

セレクトティブアイコン

画面に表示するアイコンを10種類から最大6ヶまで選択できます。

- * 各アイコンの詳細については18ページを参照してください。
- * 選択方法は27、32ページを参照してください。

6個選択された状態で違うアイコンを選択する場合は、すでに「オン」になっているアイコンを「オフ」にしながら、別のアイコンを選択します。



セレクトティブアイコンの一括表示/一括非表示

- 1 ▼ボタンを約1秒間押し続ける。



一括非表示にした場合

- 2 再度表示するには▼ボタンを約1秒間押し続ける。



マイカー情報登録

マイカー情報を登録すると、待受画面のエコドライブに表示されるCO₂排出量をより正確に知ることができ
ます。

- * マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

- 1 ◀▶ボタンを押して「マイカー情報」を選ぶ。



- 2 ▼▲ボタンを押して「ガソリン」または「ディーゼル」を選び、ENTボタンを押す。

1リッターあたりの平均燃費を入力する。

数値の桁移動は▼▲ボタンまたは◀▶ボタンで
おこないます。



- 3 ENTボタンを押して設定を確定する。
マイカー情報が設定されます。

パワーオート切替え機能

DC12Vが入力されている場合は、本機は車のキー操作に連動して電源の「ON/OFF」をおこないます。またソーラーで使用している場合は、内蔵のムービングセンサーを利用して、車が駐車中などの振動の少ない状態が約2分間以上続いたときに自動的に電源を切ります。エンジン始動や発進などで再度連続的な振動を検知すると、自動的に電源が入ります。

注意 シガーライター用DCコードを抜いた場合などDC12Vが切れると、連続的な振動が無くなるまで電源は「OFF」となります。

注意 ・ソーラーで使用の場合、振動で電源が入らない場合や電源が切れない場合には、ムービングセンサーの感度を車に合わせて調整してください。
 ・車を駐車する周囲に、工事現場や幹線道路がある場合など、周辺の振動や騒音を検出し、電源が切れない場合があります。その場合には本体の「電源スイッチ」で電源を切ってください。

M.S.C.の設定

ムービングセンサーの感度を調整できます。
 * マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

1 ◀▶ボタンを押して「M.S.C.」を選ぶ。



2 ▼▲ボタンを押して設定を切り替える。

「M.S.C.」の設定の目安	
感度ハイ	振動の少ない車（高感度）
感度ミドル	標準設定
感度ロー	振動の多い車（低感度）

3 ENTボタンを押して設定を確定する。

GPSデータ更新

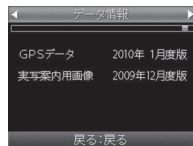
microSDカードを使用してGPSデータの更新をおこないません。詳しくは専用サイトを参照してください。
<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

- 1 電源を切る。(P16参照)
- 2 更新用GPSデータが入ったmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入する。(P15参照)
- 3 電源を入れる。



* 途中、メッセージが変わります。

GPSデータのバージョンを確認します。(P47参照)



データの更新が失敗した場合、以下の画面が表示されるので電源を入れなおしてください。再度、自動的にデータの更新が開始します。



それでもデータの更新に失敗する場合、MyCellstarのサイト内の説明をよく読み、再度データの更新をしていただくか、カスタマーサービス（裏表紙参照）へご連絡ください。

4 必要であればmicroSDカードを取り出します。(P15参照)

もっと使いこなす

GPSスポット追加機能

登録したい場所（緯度経度、種別）をGPSスポット変換ツール（無料）を使ってGPSデータに変換することができます。できたGPSデータは、microSDカードにコピーし、インポートすることでGPSスポットとして追加することができます。

* GPSスポット変換ツールは、MyCellstarのサイトからダウンロードできます。使用方法は、ツールに付属している説明書をお読みください。

MyCellstar : <http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

* 上記サービスを利用するには、インターネットへの接続が可能な環境とmicroSDカードを読み書きできるパソコンが必要となります。

免責事項

本サービスは、当社の都合により将来予告なく終了または内容を変更する可能性があります。また、ダウンロードしたソフトにつきましては、万一利用者に何らかの損害が生じても誠に勝手ながら当社は責任を負わないものとさせていただきます。あくまで利用者個人の責任においてご活用くださいますよう、お願い申し上げます。

動作環境

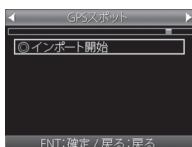
詳細な動作環境は専用サイトを参照してください。

GPSスポットの追加

* マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

1 GPSスポットのデータを入れたmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入する。（P15参照）

2 ◀▶ボタンを押して「GPSスポット」を選ぶ。



3 ENTボタンを押してGPSスポットをインポートする。

GPSデータの更新に成功すると以下の画面が表示されます。



GPSデータの更新に失敗した場合、以下の画面が表示されます。専用サイト内の説明をよく読み、再度データの更新をおこなってください。



追加されたGPSスポットは約1km、500m手前で案内します。

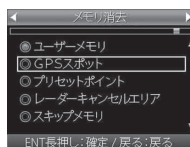


* インポート終了後はmicroSDカードを抜いても案内できます。

GPSスポットの全消去

* マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

1 ◀▶ボタンを押して「メモリ消去」を選ぶ。



2 ▼▲ボタンを押して、「GPSスポット」を選ぶ。

「GPSスポット、GPSスポット…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「GPSスポット消去しました」とアナウンスされるまでENTボタンを押し続ける。

走行ログの記録と転送

走行ログ（NMEA準拠フォーマット）を内部メモリに記録し、microSDカードに転送することができます。

作成したデータは、市販の地図ソフトを使って、地図上に走行経路を表示することができます。

- * 内部メモリには約9時間記録（約1Mバイト）ができます。アイドリング中のデータは圧縮されます。
- * DC12Vが入力されていないと記録することができません。

走行ログの記録を開始

* マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

1 ◀▶ボタンを押して「走行ログ」を選ぶ。



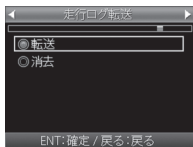
- ・オン
走行ログを記録
- ・オフ
走行ログを記録しない

2 ▼▲ボタンを押して「オン」を選び、ENTボタンを押す。

走行ログをmicroSDカードに転送

* マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

1 ◀▶ボタンを押して「走行ログ転送」を選ぶ。



- ・転送
内部メモリに記録されている走行ログをmicroSDカードに転送
- ・消去
内部メモリに記録されている走行ログを消去

2 ▼▲ボタンを押して「転送」を選び、ENTボタンを押す。

* 転送された走行ログは、専用ソフトウェアで、データを開くことができます。

使用状況表示機能

電源が入ってから現在までのGPS警告案内回数、レーダー受信回数、平均速度、最高Gフォースなどを表示します。

1 ▲ボタンを約1秒間押し続ける。

* 使用状況表示中はすべての警告動作が停止します。

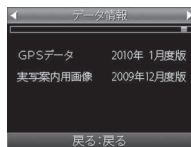


2 通常の画面に戻る場合は戻るボタンを押す。

GPSデータと実写案内用画像のバージョン確認

* マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

1 ◀▶ボタンを押して「データ情報」を選ぶ。



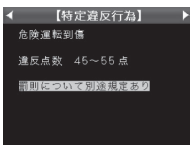
* 表示内容は、実際の製品とは異なります。

反則金データベース表示機能

交通違反の際に課せられる反則金や反則点数をディスプレイに表示します。違反内容によっていくら反則金が課せられるか、または何点反則点数が加算されるかを調べるのに便利です。

1 電源ボタンを約1秒間押し続ける。

ディスプレイに反則金データベースが表示されます。



- * 表示内容は2010年2月現在のものです。
- * すべての交通違反は登録されていません。

2 ◀▶ボタンを押して表示内容を切り替える。

違反点数の大きい順に画面が切り替わります。

3 通常の画面に戻る場合は戻るボタンを押す。

エリアタイムディマー機能

GPSの時刻情報を利用し、各地域での昼/夜/薄明時(朝または夕方)の時刻に応じてディスプレイの明るさを自動的に調整します。

- * 設定は不要です。

オートトーンダウン機能

レーダー警告が始まってから約30秒後、またはステルスアラームが始まってから約10秒後に、警告音量が自動的に小さくなります。

- * 設定は不要です。

レーザーオートミュート機能

同じ無線を連続して受信すると、自動的に警告音やボイスアシストをミュート（消音）します。

- * 350.1MHzはミュートされません。
- * 画面表示はおこないます。
- * 設定は不要です。

本機の初期化

この操作をおこなうと、各設定や記録内容はすべて消去され、工場出荷時の状態に戻ります。



初期化をおこなうと、各設定や記録内容を復帰させることはできません。初期化は十分に注意しておこなってください。

- * マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

1 ◀▶ボタンを押して「初期化」を選ぶ。

「初期化、初期化…」と繰り返しアナウンスします。



2 「開始」とアナウンスされるまでENTボタンを押し続ける。

初期化が終わると「初期化完了」とアナウンスされます。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> DC12Vが入力されていますか。 本体とDCコードが外れていませんか。 	P10
	<ul style="list-style-type: none"> コードレスの場合は、内蔵バッテリーの残量はありますか。 	P13
	<ul style="list-style-type: none"> ムービングセンサーの感度は正しく設定されていますか。 	P34, P45
電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> DC12Vが入力されていますか。 	P10
	<ul style="list-style-type: none"> ムービングセンサーの感度は正しく設定されていますか。 	P34, P45
充電されない	<ul style="list-style-type: none"> DC12Vが入力されていますか。 本体とDCコードが外れていませんか。 コードレスの場合は、ソーラーパネルに太陽光が適切に当たっていますか。 	P13
機能設定が変更できない	<ul style="list-style-type: none"> 「マニュアルモード」に設定されていますか。 	P27
GPS 信号を受信しない	<ul style="list-style-type: none"> GPS信号は受信可能ですか。 	P8, P38
	<ul style="list-style-type: none"> コードレスの場合は、内蔵バッテリーの残量はありますか。 	P13
速度取締機の警告をしない	<ul style="list-style-type: none"> GPS信号は受信可能ですか。 GPS警告ポイント消去機能が設定されていませんか。 	P8, P38
	<ul style="list-style-type: none"> 登録されていない速度取締機の可能性があります。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 取締機の設定が「ハイウェイ」または「シティ」になっていませんか。 	P28
GPS 警告をしない	<ul style="list-style-type: none"> 設定が「オフ」になっていませんか。 	P28 - P31
	<ul style="list-style-type: none"> 登録されていないポイント（エリア）の可能性があります。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ロード自動選択機能が「オン」になっていませんか。 	P32
制限速度切替りポイントのGPS 警告をしない	<ul style="list-style-type: none"> 制限速度切替りポイントの設定が「標準」で制限速度の上がる地点で警告しない設定になっていませんか。 	P28
何も無いのにレーダー警告音が鳴る	<ul style="list-style-type: none"> 速度取締機と同じ電波は他の機器でも使用されています。その場合、レーダー警告を出す場合があります。これは故障ではありません。あらかじめご了承ください。 < 同じ電波を使用している機器例 > <ul style="list-style-type: none"> 自動ドアの一部 / 車両通過計測器 / NTTの通信回線の一部 / 気象用、航空機用などのレーダーの一部 < 対処 > <ul style="list-style-type: none"> レーダーキャンセルエリア 	P40
ユーザーメモリをお知らせしない	<ul style="list-style-type: none"> ポイントは記録されましたか。 反対方向などから走行していませんか。 	P39

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	考えられる原因	参照
ハイブリッドL.S.C. 機能が働かない	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッドL.S.C. 機能は「オフ」になっていませんか。 ムービングセンサーの感度は正しく設定されていますか。 	P30, P41 P34, P45
ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点がある	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイ特有の現象であり、故障ではありません。 	—
ディスプレイに表示跡や色むらがある	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイの特性によるものです。不良や故障ではありません。 	—
無線を受信しない	<ul style="list-style-type: none"> DC12Vが入力されていますか。 各種無線の設定が「オフ」になっていませんか。 無線は常に発信されているわけではありません。 	P10 P30
カーロケーターを受信しない	<ul style="list-style-type: none"> カーロケの設定が「オフ」になっていませんか。 カーロケーターシステムを搭載していない車両の可能性があります。 カーロケーターシステムが導入されていない地域の可能性があります。 	P30
350.1MHzの音声が届かない	<ul style="list-style-type: none"> 350.1MHzの設定が「オフ」になっていませんか。 デジタル通信の場合、音声を聞くことはできません。 350.1MHzの受信電波が弱いと、音声が届かない場合があります。 	P30
レッカー無線を受信しない	<ul style="list-style-type: none"> DC12Vが入力されていますか。 レッカー無線の設定が「オフ」になっていませんか。 本機搭載のレッカー無線チャンネルは、主に東京都、兵庫県、愛知県内の一部地域で使用されているものです。レッカー無線を搭載していない車両の可能性があります。 走行速度が約50km/h以上で走行していませんか。 	P10 P30
レッカー無線以外の業務無線を受信する	<ul style="list-style-type: none"> レッカー無線は簡易業務無線のため、その他業種の無線も受信します。 	—
各種無線を受信したままになる	<ul style="list-style-type: none"> 車からの影響や、周囲の状況により受信したままになる場合があります。 < 対処 > ワンスキップ / スキップメモリ 	P41
実写で警告しない	<ul style="list-style-type: none"> microSDカードに実写案内用画像が記録されていない、またはmicroSDカードが挿入されていますか。 速度取締機の場合、実写案内用画像が用意されていない場合があります。最新のGPSデータならびに実写案内用画像はMyCellstarのサイトから無料でダウンロードできます。 	P15
自動的にいろいろな警告や案内を繰り返す	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイモードになっています。 カスタマーサービスにご連絡ください。 	裏表紙

アフターサービスについて

保証書について

■ 保証書（別途添付）

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

■ 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。



修理・点検を依頼される場合

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきましては、修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データ等はすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

■ 保証期間中のとき

（保証書に販売店名、日付印がないと無効になります）

恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。

- ・ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点が出ても、保証対象になりません。
- ・焼き付けや色むらなどによるディスプレイの修理は保証対象になりません。

■ 保証期間が過ぎているとき

お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

個人情報に関して

本機に対するお問い合わせ、修理などを依頼される場合の個人情報の利用目的について

1. 当社製品・サービスなどに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
2. 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

当社でのお客様の個人情報取り扱いについては
当社ホームページでご確認いただけます。

<http://www.cellstar.co.jp/>

リモコンの紛失について

万一リモコンを紛失された場合は、お買い求めになった販売店までご依頼ください。

GPSデータの更新について

本機は速度取締機、取締りポイントなどの位置データを使用して製造をおこなっています。その後、速度取締機などの新設や変更などがあった場合、その内容を反映させたデータを1年に6回を目安として更新用データを作成しております。

また、更新用データの作成につきましては、製品の仕様や更新用データの都合などにより、更新用データの作成を終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

データ更新は選べる3プラン【入会金・年会費不要】

■ ダウンロードお家で更新プラン

パソコンでGPSデータをダウンロード、microSDカードを使って更新します。

何回でもダウンロード可 無料

MyCellstarのサイト

（<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>）にアクセスします。
手順にしたがってmicroSDカードにコピーします。
（市販のカードリーダー/ライターなどをご利用ください。）



専用サイトの説明、注意事項をよく読み、手順にしたがってGPSデータを更新します。

■ microSDカード購入ラクラク更新プラン

更新用データ入りカードを当社お客様相談窓口または販売店で購入します。

1枚 ￥2,500（税込）

■ 送って更新プラン

製品を当社に送っていただき当社で更新を実施します。

1回 ￥3,000（税込）

お買い求めになった販売店、当社お客様相談窓口までご依頼ください。また、データ更新作業の際に工場出荷状態に戻ってしまう場合があります。あらかじめご了承ください。

- * プランによっては、別途送料が必要です。
- * お客様所有のmicroSDカード（記憶媒体）へのデータ書き込みサービスは一切おこなっておりません。

仕様・定格

■ 本体

- GPS受信部
 - 受信方式 : 12ch パラレル受信
 - 受信周波数 : 1575.42MHz
- レーダー受信部
 - 受信方式 : ダブルスーパーヘテロダイン方式
 - 受信周波数 : Xバンド、Kバンド
- レシーバー部
 - 受信方式 : ダブルスーパーヘテロダイン方式
 - 受信周波数 : UHF330 ~ 470MHz
VHF154 ~ 162MHz
- 電源電圧 : 内蔵バッテリー / DC3.6V
DCコード/DC12V
- 動作温度範囲 : -10℃ ~ +65℃
- サイズ : 80 (W) × 103 (D) × 51 (H) mm
- 表示部 : IPS液晶

■ リモコン

- 使用電池 : リチウム電池 CR2032×1
- 動作温度範囲 : -10℃ ~ +65℃
- サイズ : 32 (W) × 13 (D) × 66 (H) mm

- * 改良などのため、本機の仕様・定格などを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- * 本書記載の画面表示は実際の表示と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- * 本書記載の警告時などの表示画面はアニメ警告の場合のものです。

新設速度取締機、Nシステム、取締りポイントなどの情報提供のお願い

本機でお知らせできない新設された速度取締機、Nシステムの情報や高速道、一般道に関わらず有人取締りが頻繁におこなわれるエリア、追尾取締りや検問などの目撃情報がありましたら、当社カスタマーサービスまたは、e-メールなどでお知らせ頂きますようお願いいたします。

カスタマーサービス ☎ 0120-75-6867

(携帯電話・PHS よりおかけの方は、TEL. 046-275-6867)

e-メール : ranavi@cellstar.co.jp / ホームページ : www.cellstar.co.jp

- * 携帯電話などからe-メールでの情報提供をしていただき、返信メールをご希望される場合には、パソコンからのメールを受信できる状態、または、cellstar.co.jp をドメイン指定してください。詳しい設定方法については、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

各地域のお客様相談窓口一覧

- | | | | |
|--|---|---|--|
| ■北海道地区
〒004-0843 | 北海道セルスター工業株式会社
札幌市清田区清田三条 1-3-1
TEL.011-882-1225 (代)
FAX.011-881-7251 | ■中部・北陸地区
〒463-0021 | 中部セルスター工業株式会社
愛知県名古屋守山区大森 4-1002
TEL.052-798-6325 (代)
FAX.052-798-6315 |
| ■東北地区
〒981-3117 | セルスター工業 (株) 仙台営業所
宮城県仙台市泉区市名坂字原田 158
TEL.022-218-1100 (代)
FAX.022-218-1110 | ■関西・中国・四国地区
〒562-0004 | 関西セルスター工業株式会社
大阪府箕面市牧落 3-8-7
TEL.072-722-1880 (代)
FAX.072-722-5575 |
| ■関東地区
〒242-0002 | セルスター工業 (株) 関東営業所
神奈川県大和市つきみ野 7-17-32
TEL.046-273-1100 (代)
FAX.046-273-1106 | ■九州地区
〒811-1347 | セルスター工業 (株) 福岡営業所
福岡県福岡市南区野多目 1-11-7
TEL.092-552-5252 (代)
FAX.092-552-5300 |
| ■セルスター工業株式会社 カスタマーサービス
〒242-0002 | 神奈川県大和市つきみ野 7-17-32
フリーダイヤル 0120-75-6867
TEL.046-273-1100 (代) | 名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。 | |

全国自動車用品工業会会員 <http://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR® セルスター工業株式会社